

令和 5 年度

一般選抜

前期日程・後期日程

学生募集要項

令和 4 年 11 月

格致によりて 人と社会の未来を拓く

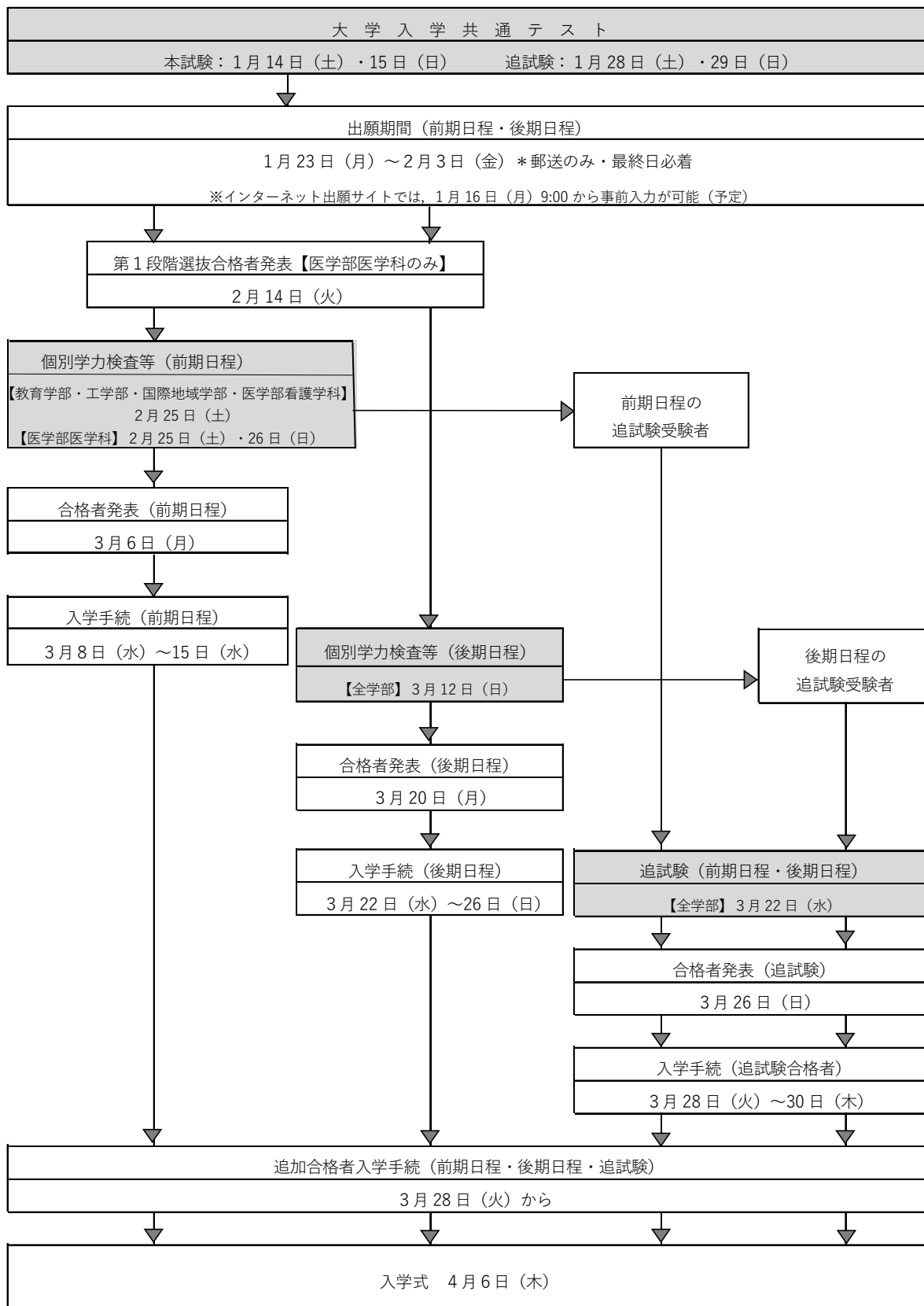


国立大学法人

福井大学

UNIVERSITY OF FUKUI

令和5年度 福井大学入学者選抜（一般選抜）日程の概要



<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合や、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」のページでお知らせします。
[福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。

目 次

I 共通事項

1. 入学定員及び募集人員 1
 - (1) 教育学部学校教育課程の選抜方法等
 - (2) 工学部の所属コース等の決定
2. 入学者選抜方法等 4
3. 出願資格 4
4. 出願手続 5
 - (1) 出願期間
 - (2) 出願方法
 - (3) 出願書類等
 - (4) 検定料の支払方法
 - (5) 受験票の印刷
5. 試験場 10
6. 試験当日等の注意事項 10
7. 新型コロナウイルス感染症対応における
受験可否の基準 13
8. 合格者発表 13
9. 入学手続 14
 - (1) 入学手続期間
 - (2) 入学手続方法
 - (3) 入学手続書類等の送付先
 - (4) 入学手続時に要する経費
 - (5) 留意事項
 - (6) 入学料免除・徴収猶予と授業料免除・
徴収猶予
10. 追試験 15
 - (1) 追試験受験申請対象者
 - (2) 追試験受験申請手続
 - (3) 追試験の日程及び試験場
 - (4) 試験当日等の注意事項
 - (5) 合格者発表
 - (6) 入学手続
11. 欠員補充の方法 20
 - (1) 追加合格
 - (2) 欠員補充第2次募集
12. 障がいのある入学志願者等の事前相談 20
13. 入学検定料免除（返還） 21
14. 一般選抜における個人成績の開示 21
15. 個人情報の利用 21
16. 入試過去問題活用宣言への参加 22

II 教育学部

1. アドミッション・ポリシー 23
2. 個別学力検査等の日程 27
3. 入学者選抜方法等 27
4. 小論文、面接の内容（出題方針）等 28
5. 実技検査内容 29
6. 注意事項 30
7. 入学者選抜の実施教科・科目等 31

III 医学部

1. アドミッション・ポリシー 33
2. 個別学力検査等の日程 38
3. 入学者選抜方法等 38
4. 小論文、面接の内容（出題方針）等 39
5. 注意事項 39
6. 入学者選抜の実施教科・科目等 40

IV 工学部

1. アドミッション・ポリシー 41
2. 個別学力検査等の日程 45
3. 入学者選抜方法等 45
4. 注意事項 45
5. 入学者選抜の実施教科・科目等 46

V 国際地域学部

1. アドミッション・ポリシー 48
2. 個別学力検査等の日程 51
3. 入学者選抜方法等 51
4. 小論文、面接の内容（出題方針）等 51
5. 注意事項 52
6. 入学者選抜の実施教科・科目等 53

VI 福井大学案内

1. 目的及び使命 54
2. 学部の紹介 54
3. 入学時の諸経費 57
4. 学生生活 57

福井大学入学試験個人成績開示申込書 61
福井大学キャンパス建物配置図 62
福井大学位置図 65

※ 本要項中の教科・科目名等は、次のように略記しています。

国語→国，地理歴史→地歴，世界史A→世A，世界史B→世B，日本史A→日A，日本史B→日B，

現代社会→現社，倫理→倫，政治・経済→政経，倫理，政治・経済→倫・政経

数学①→数①，数学②→数②，数学→数，数学Ⅰ→数Ⅰ，数学Ⅱ→数Ⅱ，数学Ⅲ→数Ⅲ，

数学A→数A，数学B→数B，簿記・会計→簿，情報関係基礎→情報

理科①（基礎を付した科目）→理①，理科②（基礎を付していない科目）→理②

外国語→外，英語→英，ドイツ語→独，フランス語→仏，中国語→中，韓国語→韓，コミュニケーション英語Ⅰ→コ英Ⅰ，

コミュニケーション英語Ⅱ→コ英Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ→コ英Ⅲ，英語表現Ⅰ→英表Ⅰ，英語表現Ⅱ→英表Ⅱ

I 共通事項

1. 入学定員及び募集人員

学部	学科・課程・コース等		入学定員	募 集 人 員											
				一般選抜		学校推薦型選抜				総合型選抜		私費外国人留学生選抜			
				前期日程	後期日程	学校推薦型選抜Ⅰ		学校推薦型選抜Ⅱ		総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ				
教育学部	学校教育課程	初等教育コース	100	選抜区分		選抜区分		選抜区分		選抜区分		選抜区分			
				文系型	13	統合型	9	高大接続型 (嶺南地域枠)	6	面接型 (総合)	10	実技型 (美術)	1		
				理系型	11					面接型 (特別支援)	5				
				実技型 (音楽)	2					面接型 (家庭)	1				
				実技型 (体育)	2										
		60													
		文系型		8	統合型	4	高大接続型 (嶺南地域枠)	4	面接型 (総合)	4	実技型 (美術)	2			
		理系型		8					面接型 (家庭)	2					
		実技型 (音楽)		1			実技型 (技術)	2	実技型 (音楽)	2					
		実技型 (体育)		3											
		40													
	教育学部計		100	48	13	12	24	3	—	—					
医学部	医学科		110	55	25		30								
	看護学科		60	30	5	25									
	医学部計		170	85	30	25	30	—	—	—					
工学部	機械・システム工学科		155	75	65				15	各学科 若干名					
	電気電子情報工学科		125	68	42	5			10						
	建築・都市環境工学科		60	30	17	3			10						
	物質・生命化学科		135	75	40				20						
	応用物理学科		50	18	27				5						
	工学部計		525	266	191	8	—	—	60	若干名					
国際地域学部	国際地域学科		60	30	12		10	8		若干名					
合 計			855	429	246	45	64	11	60	若干名					
						109		71							

注 1. 教育学部の前期日程，後期日程，学校推薦型選抜Ⅰ，学校推薦型選抜Ⅱ，総合型選抜Ⅰの選抜方法については，次頁の「(1) 教育学部学校教育課程の選抜方法等」によるものとします。

2. 教育学部，工学部，国際地域学部の学校推薦型選抜・総合型選抜の入学手続者数が募集人員に満たない場合は，一般選抜（前期日程）からその不足分を補充します。

（１）教育学部学校教育課程の選抜方法等

○募集人員，志願方法，選抜方法等

前期日程

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
文系型	初等教育コース	13名	21名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。 2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を文系型、理系型、実技型(音楽)、実技型(体育)の選抜区分ごとに選抜を行い、所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
	中等教育コース	8名		
理系型	初等教育コース	11名	19名	
	中等教育コース	8名		
実技型(音楽)	初等教育コース	2名	3名	
	中等教育コース	1名		
実技型(体育)	初等教育コース	2名	5名	
	中等教育コース	3名		
学校教育課程 前期日程 計		48名		

後期日程

選抜区分		コース		募集人員		選抜グループ及び選抜方法	
統合型	初等教育コース	9名	13名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。			
	中等教育コース	4名		2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を統合型の選抜区分で選抜を行い、所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。			
学校教育課程 後期日程 計		13名					

学校推薦型選抜Ⅰ

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
高大接続型 (嶺南地域枠)	初等教育コース	6名	10名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。
	中等教育コース	4名		2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を高大接続型(嶺南地域枠)の選抜区分で選抜を行い、合格者を決定します。
実技型(技術)	中等教育コース	2名		中等教育コースのみの志願とし、合格者を決定します。
学校教育課程 学校推薦型選抜Ⅰ 計		12名		

学校推薦型選抜Ⅱ

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
面接型(総合)	初等教育コース	10名	14名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。
	中等教育コース	4名		
面接型(家庭)	初等教育コース	1名	3名	2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を面接型(総合)、面接型(家庭)の選抜区分で選抜を行い、合格者を決定します。
	中等教育コース	2名		
面接型(特別支援)	初等教育コース	5名		初等教育コースのみの志願とし、合格者を決定します。
実技型(音楽)	中等教育コース	2名		中等教育コースのみの志願とし、合格者を決定します。
学校教育課程 学校推薦型選抜Ⅱ 計		24名		

総合型選抜Ⅰ

選抜区分	コース	募集人員		選抜グループ及び選抜方法
実技型(美術)	初等教育コース	1名	3名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることが出来ます。
	中等教育コース	2名		2. 初等教育コース、中等教育コースの志願者を実技型(美術)の選抜区分で選抜を行い、合格者を決定します。

○所属コース等の決定

前期日程，後期日程，学校推薦型選抜Ⅰ，学校推薦型選抜Ⅱ，総合型選抜Ⅰでは，所属するコース（初等教育コース，中等教育コース）を合格発表時に決定します。

所属サブコースは，２年次前期開始までに本人の希望と入学試験時の選抜区分及び入学後の成績等により決定します。

（２）工学部の所属コース等の決定

所属コース等の決定

機械・システム工学科（総合型選抜Ⅱ（特別枠）は除く）、電気電子情報工学科、建築・都市環境工学科、物質・生命化学科において、所属するコースは、２年次後期終了時までには本人の希望と入学後の成績等により決定します。

各学科のコースは次のとおりです。

【工学部】

学科	コース	コース配属時期等
機 械 ・ シ ス テ ム 工 学 科	機械工学コース	応用物理学科を除く各学科のコース 選択は２年次後期終了時までに行い、 その後各コースへの配属となります。 なお、機械・システム工学科の原子 力安全工学コースの学生は、コース配 属の３年次から敦賀キャンパスにおい て教育を受けます。
	ロボティクスコース	
	原子力安全工学コース	
電 気 電 子 情 報 工 学 科	電子物性工学コース	
	電気通信システム工学コース	
	情報工学コース	
建 築 ・ 都 市 環 境 工 学 科	建築学コース	
	都市環境工学コース	
物 質 ・ 生 命 化 学 科	繊維・機能性材料工学コース	
	物質化学コース	
	バイオ・応用医工学コース	
応 用 物 理 学 科	※コース選択はありません	

2. 入学者選抜方法等

- (1) 本学の一般選抜は、分離分割方式により前期日程試験と後期日程試験で実施します。前期日程及び後期日程からそれぞれ1つの募集区分に出願することができます。
- (2) 試験日程グループ間の併願については、「前期－前期」、「後期－後期」の組合せでの併願はできません。
- (3) 前期日程の大学・学部合格し、入学手続を完了した者は、後期日程の大学・学部を受験しても合格者とはなりません。
- (4) 他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び総合型選抜の合格者は、本学の個別学力検査を受験しても合格者とはなりません。ただし、学校推薦型選抜及び総合型選抜を実施する大学・学部の定める手続きにより、入学の辞退を許可された場合は、この限りではありません。

3. 出願資格

本学の一般選抜に出願をすることができる者は、次のいずれかに該当し、かつ志望する学部・学科等が指定する令和5年度大学入学共通テスト（以下、「大学入学共通テスト」という。）の教科・科目（教育学部：31・32ページ、医学部：40ページ、工学部：46・47ページ、国際地域学部：53ページを参照）をすべて受験した者としてします。

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和5年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次のいずれかに該当する者又は令和5年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは令和5年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和5年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験の合格者又は令和5年3月31日までに合格見込みの者で令和5年3月31日までに18歳に達するもの（大学入学資格検定合格者を含む。）
 - ⑥ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者である場合は、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの

【注意事項】

- ア. 出願資格の詳細は、令和5年度大学入学共通テスト「受験案内」の「出願資格と証明書類」を参照してください。
- イ. 出願資格（3）の⑥により出願を希望する者は、出願受付開始日の10日前までに本学学務部入試課へ問い合わせてください。
- ウ. 出願資格（3）の⑦の個別の入学資格審査の申請期間は令和4年8月31日（水）で終了しています。ただし、他大学で入学資格認定を受けた者で、大学入学共通テストの出願後に本学の入学資格審査を希望する場合は、個別学力検査出願受付開始日の5日前までに必要書類を添えて申請してください。

詳細については、本学ホームページの下記のページを参照してください。

【トップページ＞受験生の方へ＞入試データ＞入学資格審査】

エ. 出願資格に不明な点がある場合には、日程に十分余裕を持って出願前に本学学務部入試課へ文書により問い合わせてください。

4. 出願手続

出願手続は、インターネット出願サイトでの出願情報の入力及び検定料の支払いを行った後、必要な書類等を郵送することにより完了します。必要な書類に不備がないかよく確認して発送してください。

(1) 出願期間

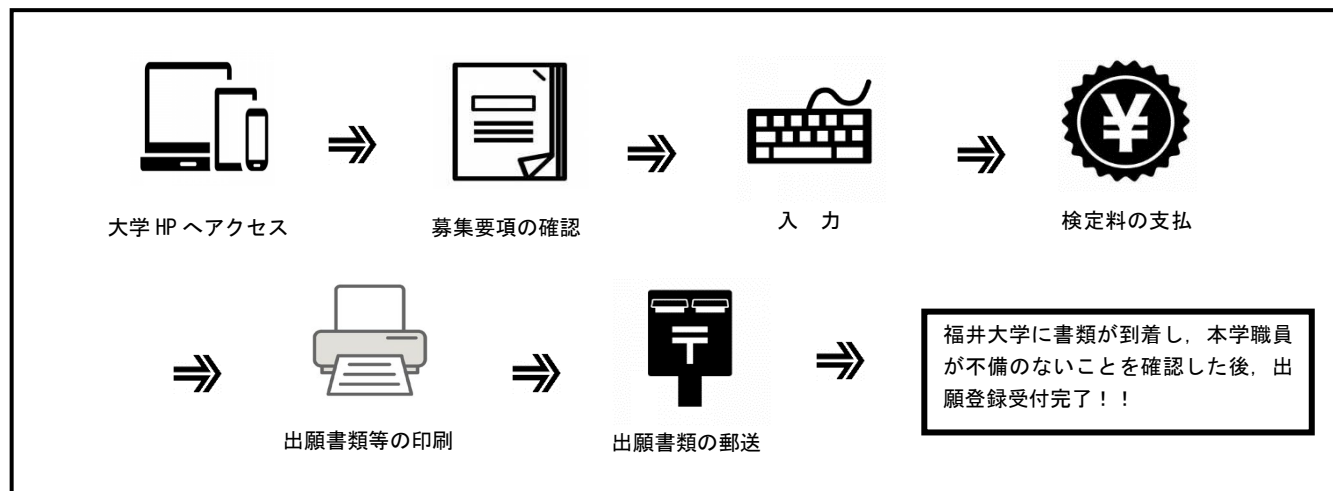
令和5年1月23日（月）～2月3日（金） 17時必着

※インターネット出願サイトでは、1月16日（月）9:00 から入力が可能（予定）

- ① 出願書類等は、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、本学学務部入試課又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ郵送（書留速達）するものとし、出願期間内に必着とします。ただし、期限後に到着した出願書類等のうち、2月1日（水）までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。持参による出願は認めません。
- ② 同一人が前期日程と後期日程に出願する場合や、出身学校経由で提出する場合であっても、出願書類をそれぞれ別の封筒に入れたうえで、郵送してください。
- ③ 郵便局で交付される書留郵便受領証等は、受験票が印刷できるようになるまで大切に保管してください。
- ④ 出願書類到着の照会には応じません。

(2) 出願方法

- インターネット出願の流れ



出願はインターネットにより行います。出願完了には次の①～④ のすべての手続が必要です。インターネット出願サイトへは、本学ホームページの下記のページからアクセスできます。

【トップページ＞受験生の方へ＞入試情報・募集要項＞インターネット出願】

(https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/examination/web_apply/)

No.	手 続	備 考
①	インターネット出願サイトでの出願情報の入力	出願情報入力可能期間：令和5年1月16日（月）9：00～2月3日（金）17：00 （「出願情報入力可能期間」の内、「出願期間」前に入力した場合であっても、必ず出願期間内に願書類を本学に郵送し、受付を完了してください。）
②	検定料の支払い	検定料 17,000 円（別途支払手数料が必要です。） 検定料の詳細は、8 ページの「(4)検定料の支払方法」を参照してください。
③	出願書類等の印刷	出願情報の入力及び検定料の支払い後にダウンロードする書類は全て白色の A 4 用紙にカラーで印刷してください。
④	出願書類の郵送	市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、書留速達郵便で郵送してください。 （郵送先） 【教育学部・工学部・国際地域学部】 〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課 【医学部】 〒910-1193 吉田郡永平寺町松岡下合月23-3 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当

（注） インターネット出願サイトでの出願情報の入力及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了とはなりません。出願期間内に、次項に記載する出願書類を郵送（最終日 17 時必着）することで完了します。

（３）出願書類等

① インターネット出願サイトから印刷するもの

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
出願確認票 （提出用）	出願情報の入力後、申込確認ページから A 4 サイズでカラー印刷し、提出してください。 なお、所定の位置に、前期日程出願者は「令和5共通テスト成績請求票 前 国公立前期日程用」を、後期日程出願者は「令和5共通テスト成績請求票 後 国公立後期日程用」を必ず貼付してください。 貼付する際には、成績請求票と出願する日程に誤りがないか確認し、全面にしっかりとりのり付けしてください。 また、大学入学共通テスト受験票又は成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行された成績請求票を貼付してください。出願後にこれらの再発行を受けた場合は、速やかに本学学務部入試課（教育学部・工学部・国際地域学部）又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当（医学部）に連絡してください。 注）印字されている内容に誤りがないか確認してください。 出願確認票は、検定料の支払い及び証明写真のアップロードが完了していないと印刷できません。

出願封筒用 宛て名ラベル	出願情報の入力後、申込確認ページから A 4 サイズでカラー印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください（普通紙に印刷する場合は剥がれないようにのり付けしてください）。 注）印字されている内容に誤りがないか確認してください。 封筒は、市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）を使用し、書留速達で郵送してください。
-----------------	---

②インターネット出願サイトからアップロード作業が必要なもの

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
証明写真データ	出願情報の入力及び検定料支払い後、登録完了メールに記載されている URL から、志願者本人の顔写真のアップロードを行ってください。 注）志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無帽・正面向き・無背景のもの、出願前 3 か月以内に撮影した 100KB～5MB の jpg 又は png 形式のデータを使用してください。

③その他同封が必要な書類

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
調 査 書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを同封してください。 学習成績概評 A 段階に属し、人物、学力ともに特に優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄に ④ の標示をし、その理由を「備考」の欄に記載してください。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響による、高等学校における臨時休業や大会、資格・検定試験の中止等を踏まえ、評定、出席日数、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項の記載不可や記載が少ないこと等をもって、志願者を不利益に取り扱うことはありません。 高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定合格者を含む）は、調査書に代えて「合格証明書」及び「合格成績証明書」の 2 点を提出してください。ただし、出身学校等において科目を修得したことにより受験科目を免除された場合については、これらに加え、出身学校等の調査書又は成績証明書を提出してください。
【教育学部該当者のみ】提出資料	○ 前期日程の実技型（音楽）志願者（29 ページ参照） 声楽実技の受験者は、伴奏譜を提出してください。 管弦打楽器実技の受験者は、楽譜を提出してください。 ○ 前期日程の実技型（体育）志願者 次の資料を A 4 サイズの用紙にまとめて提出してください。 ① 競技歴リスト 出場した主な競技会等の競技歴リストを作成してください。書式は自由ですが、最近のものから順に期日、大会名、種目、成績、試合結果、役割（チーム競技の場合は先発、補欠、ポジション等）について明記し、主要な成績 1 つに◎印を付けてください。特に必要な場合は、中学時代の競技歴をつけ加えても構いません。 ② 競技歴を証明する資料 ①の競技歴リストを証明する資料を添付してください。ただし、◎印を含め 3 点以内とします。これらのコピー（片面）を 3 枚以内にまとめてください。証明する資料とは、賞状、大会プログラム、メンバー表、段位認定証、ランキング表、新聞や雑誌の切り抜き等です。正確に判読できる範囲であれば縮小・拡大しても構いません。資料は重ねて貼り付けしないでください。

【医 学 部 該当者のみ】 履 歴 書 (所定様式)	医学科，看護学科ともに，高等学校又は中等教育学校を，令和4年3月以前に卒業した者（既卒者）は，本学ホームページから様式をダウンロードして作成してください。 手書きの場合は黒のインク又はボールペンを使用し（消せるボールペンは使用不可），文字はかい書で正確に記入してください。数字は算用数字を使用してください。
-------------------------------------	--

注 意 事 項

- ① 指導要録等の保存期間が経過した者，又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない者は，次によって提出してください。

ア．卒業後5年を経過した場合

原則として「卒業証明書」及び「単位修得証明書」，又は「学籍の記録及び修得単位の記録のみを証明した調査書」を提出してください。

イ．卒業後20年を経過した場合

「卒業証明書」及び「指導要録が法令に定める保存年限を経過し，廃棄済みであるため調査書を発行できない旨の文書」を提出してください。

なお，成績通信簿の写し（受験者本人が保管している場合）等入学志願者が提出できる書類をもって調査書に代えることができます。

ウ．廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合

上記イと同じ。なお，これらの書類も提出できない場合は，出身高等学校を所管する教育委員会，知事又は出身高等学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。

※いずれの証明書が発行可能かについては，卒業した高等学校に問い合わせ願います。

- ② 出願書類等の受理後は，どのような事情があっても出願書類の返還，並びに記載事項の変更は認められません。ただし，出願後に本人住所（合格通知等の受信場所）等が変更となった場合は，速やかに連絡してください。

- ③ 出願書類等に不備がある場合は，受理できないことがあるので，十分注意してください。

- ④ 出願書類等の記載が事実と相違した場合は，入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

- ⑤ **本学が指定した令和5年度大学入学共通テストの教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者となるので，志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください（本学は出願期間終了後に大学入試センターからのデータに基づいてのみ，この確認を行います）。なお，出願無資格者であることが判明した者は，本学の個別学力検査等を受験することができません。**

（４）検定料の支払方法

- ① 検 定 料 17,000 円

※検定料の他に，別途支払手数料が必要です。

- ② 支払期間 令和5年1月16日（月）～2月3日（金） ※出願期間とは異なります。

ただし，出願書類等は検定料支払い後に郵送が必要となり，2月3日（金）17時本学必着であることに特に注意して早めに支払ってください。

- ③ 支払方法 コンビニエンスストア，銀行ATM（Pay-easyでの支払い），クレジットカード（VISA，MasterCard，JCB，AMERICAN EXPRESS，Diners Club）及びネットバンキングのいずれかで支払いが可能です。

④ 支払いに際しての留意事項

- ア. 銀行窓口での支払いはできません。
- イ. コンビニエンスストアに設置されている銀行ＡＴＭでの支払いはできません。
- ウ. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
- エ. 支払手数料は、志願者本人の負担です。

⑤ 検定料返還に関する留意事項

出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済みの検定料は返還しません。該当者は、速やかに本学学務部入試課又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当に問い合わせてください。

ア. 検定料の全額返還請求ができる者

- 検定料支払い後、出願書類等を提出しなかった者又は出願が受理されなかった者
- 検定料を誤って二重に支払った者

イ. 検定料の一部（13,000 円）返還請求ができる者

- 医学部医学科の第１段階選抜で不合格となった者
- 出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者

ウ. 検定料の返還請求の方法

アの場合

- ① 返還請求の理由、②志願者氏名とそのフリガナ（自署・押印）、③現住所、④連絡先電話番号、⑤志願学部・学科・課程、⑥振込先金融機関名、本支店名、預金種別、口座番号、口座名義とそのフリガナ（※志願者または保護者名義の口座のみ可。保護者の場合は続柄を明記すること。）を明記した検定料返還請求願を作成し、必ず「出願確認票（提出用）」を添付してください。検定料返還請求願の様式は本学ホームページの下記のページからダウンロードしてください。

【トップページ＞受験生の方へ＞入試情報・募集要項＞入学検定料返還・免除請求】

イの場合

関係書類を送付しますので、その指示に従って請求してください。

返還請求期限 令和５年３月31日（金）17時必着

請求（送付）先

学 部	請求先（送付先）
【教育学部・工学部・国際地域学部】 文京キャンパス	〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 福井大学学務部入試課 電話 0776-27-9927
【医学部】 松岡キャンパス	〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当 電話 0776-61-8830

（５）受験票の印刷

令和５年２月９日（木）９時から、インターネット出願サイトより受験票の印刷が可能になります。申込確認画面からログインし、白色のＡ４用紙にカラーで印刷してください。

試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。なお、氏名等に誤りがある場合には、本学学務部入試課又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ連絡してください。

5. 試験場

学 部	前 期 日 程	後 期 日 程
教 育 学 部	文京キャンパス	文京キャンパス
医 学 部	松岡キャンパス	松岡キャンパス
工 学 部	文京キャンパス又は 京都試験場、名古屋試験場	文京キャンパス又は 敦賀キャンパス
国 際 地 域 学 部	文京キャンパス	文京キャンパス

◎工学部においては、文京キャンパスの他、前期日程に京都試験場と名古屋試験場を、後期日程に敦賀キャンパスを試験場に設けます。

京都試験場：株式会社京都 JA ビル

〒601-8585 京都府京都市南区東九条西山王町 1

(JR京都駅「八条口」から徒歩5分)

名古屋試験場：愛知県産業労働センター「ウインクあいち」

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

(JR名古屋駅「桜通口」からミッドランドスクエア方面 徒歩5分)

- ①工学部の志願者は、出願登録時に受験会場を選択してください。
- ②京都試験場、名古屋試験場、敦賀キャンパスの収容数には限りがあり、先着順で決定します。(定員に達した場合はインターネット出願サイト上で選択ができなくなります。)
試験場借用先(株式会社京都 JA ビル、ウインクあいち)及び敦賀キャンパスへの照会・連絡は一切しないでください。
- ③志願学部に関係なく、指定された試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。

各試験場への交通手段について

各試験場へは、公共交通機関を利用してください。

また、周辺地域の交通渋滞防止の観点から、自家用車による送迎はご遠慮願います。なお、周辺駐車場等への不法駐車はしないでください。

- ・文京キャンパス試験場及び敦賀キャンパス試験場へは、試験当日、事前に許可された者(身体に障がいのある受験者等)のみ自動車での入構ができます。
- ・松岡キャンパス試験場へは、試験当日、やむを得ず自動車で入構する場合は、受験者用駐車場(63ページの配置図を参照)に駐車してください。

6. 試験当日等の注意事項

- (1) 試験場の下見は、前期日程は2月24日(金)の14時から17時まで、後期日程は3月10日(金)の14時から17時までの時間内に行うことができます。ただし、建物内への入場はできません。案内図は、それぞれのキャンパスに設置します。

京都試験場、名古屋試験場は、試験当日のみ使用するので、建物外観以外の下見はできません。

- (2) 試験当日は、**インターネット出願サイトから印刷した本学の受験票と大学入学共通テストの受験票の両方を必ず持参**し、試験室では机の上に置いてください。なお、受験票を忘失・紛失(又は破損)した場合には、係員に申し出て再発行などの措置を受けてください。個人成績の開示を希望する者は、本学の受験票を申込期間まで保管してください。

- (3) 試験当日は、試験開始時刻の20分前までに試験室に入室してください。ただし、教育学部の前期日程「実技型（体育）」の志願者は8時30分までに第一体育館（62ページの配置図を参照）に集合してください。
- (4) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻から 30 分以内の遅刻に限り受験を認めますので、係員の指示に従ってください。なお、受験が認められた場合でも、試験時間の延長は認めません。ただし、面接は、集合時間に遅刻した場合、特別の事情がない限り受験を認めません。
- (5) 試験開始から試験終了までは、試験室からの退室を認めません。試験時間中に体調不良となった場合やトイレ等やむを得ない場合には、自席で手を挙げて監督者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも、休養室などでの受験はできません。また、一時退室した分の試験時間の延長も認められません。
- (6) 試験時間中は監督者の指示に従ってください。従わない場合や、不適切な行為のあった者は退室させることがあります。
- (7) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、黒鉛筆（HB 又は B、和歌・格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル（HB 又は B）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの）、目薬です。
- (8) 時計は、辞書・電卓・端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは使用できません。また、携帯電話、スマートフォン等を時計代わりに使用することはできません。
- (9) 耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合がありますので、使用できません。
- (10) 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類等（注 1）や音の出る機器は使用しないでください。試験室に入る前に必ず電源を切って、教科書・参考書と一緒にカバン等に入れてください。試験監督者からの携帯電話、スマートフォン等の電子機器類に関する注意や指示に従ってください。指示に従わない場合は、**不正行為**とみなすことがありますので、留意してください。
- (11) 試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が写真票により受験者の確認の為、顔を上げるよう指示することや、マスクやメガネ、帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。また、不正行為に見えるような行為は、監督者が注意する場合があります。

不正行為について

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、全ての教科・科目の成績を無効とします。
- ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン等の電子機器類等（注 1）を使用すること。
- ※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病

気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。）

ケ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン等の電子機器類等（注1）、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。

カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

（注1）携帯電話、スマートフォン等の電子機器類等については、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を指します。

＜新型コロナウイルス感染症対策のための注意事項＞

- （1）新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、原則受験者控室は設置しません。試験場内では、昼食時を除き、**必ずマスクを正しく着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）してください。**（アレルギー等やむを得ない理由でマスクの着用が困難な場合は、原則2日前までにその旨学務部入試課（教育学部・工学部・国際地域学部）又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当（医学部）まで申し出てください。）休憩時間や昼食時等の他者との接触、会話を極力控えるようにしてください。
- （2）試験室への入退出を行うごとに、備え付けのアルコール製剤で必ず手指消毒を行ってください。
- （3）試験当日、試験室の換気のために窓の開放等を行う時間帯があるので、上着など暖かい服装を持参してください。
- （4）昼食が必要な者は必ず持参してください。食事は黙食とし、休憩時間中に試験室内自席で適宜食事をしてください。
- （5）試験が終了しても試験場内ではマスクを着用し続けてください。マスクを取り替えた場合であっても、試験場内にマスクを廃棄しないでください。試験終了後は、各自寄り道などはせず、なるべくまっすぐ帰宅してください。帰宅後はまず手洗いやうがいを行ってください。
- （6）保護者等の付添人控室は、原則設置しません。ただし、やむを得ず付き添いが必要な場合は、入場を認めることがありますので、学務部入試課（教育学部・工学部・国際地域学部）又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当（医学部）まで事前に問い合わせてください。

7. 新型コロナウイルス感染症対応における受験可否の基準

以下の枠内記載の状態にある者は、受験できません。

なお、試験場における新型コロナウイルス感染症等の感染拡大を防止し、受験者が安心して受験できる環境を確保するために、発熱・咳等の症状がある者は、あらかじめ医療機関で受診するようにしてください。試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい者が発熱・咳等の比較的軽い風邪の症状（※）がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、受験の可否について、かかりつけ医や「受診・相談センター」（地域により名称が異なることがあります。）に相談してください。

<受験できない者>

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊療養施設において療養中の者
 - ② 試験日時点で保健所等から濃厚接触者に該当するとされている者
 - ③ 海外から日本に入国して受験する場合、入国後の待機期間中（注）の者
 - ④ ※の症状により、かかりつけ医等に相談の結果、受験を控えるよう診断された者
- （注）『入国後の待機期間』については、外務省ホームページを参照願います。

追試験を申請する場合は、試験当日は受験できない状態であることを確認するため、医師の診断書等の提出が必要になります。追試験の詳細については、15 ページ「10. 追試験」を参照してください。

また、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、上記の内容に変更が生じる場合があります。その場合は、本学ホームページにて随時お知らせしますので、確認してください。

8. 合格者発表

次の日程で本学ホームページにおいて合格者の受験番号を掲載します。

<http://daigakuje.jp/u-fukui/> （パソコン・携帯電話共通）

【前期日程】令和5年3月6日（月）10時

【後期日程】令和5年3月20日（月）10時



【注意事項】

- （1）キャンパス掲示板での合格者発表は行いません。
- （2）合格者発表直後は、回線が大変込み合うため、接続に時間がかかる場合があります。つながりにくい場合は、しばらく時間をおいてから再度アクセスしてください。
- （3）合格者受験番号を本学ホームページ以外からのリンクにより閲覧した場合、その内容について本学は関与しません。やむを得ない事態が生じた場合、ホームページへの掲載を一時中断することがあります。
- （4）合格者には合格通知書及び入学手続関係書類を速達郵便で送付します。不合格者への通知は行いません。また、電話等による照会には一切応じません。
- （5）医学部医学科において、2段階選抜を実施する場合の第1段階選抜可否は、前期日程、後期日程ともに令和5年2月14日（火）に、志願者全員に第1段階選抜結果通知書を送付します。併せて、同日16時に本学ホームページにおいても第1段階選抜合格者の受験番号を掲載します。なお、2段階選抜を実施しない場合は、その旨をホームページで公表します。
- （6）試験当日等に、JR福井駅や試験場周辺で合否電話やメール等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので、十分注意してください。

9. 入学手続

合格者には合格通知書とともに入学手続関係書類を送付しますので、下記期間内に郵送により入学手続を行ってください。入学手続期間内に所定の入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものととして取り扱います。入学手続時には、「大学入学共通テスト受験票」が必要となります。

(1) 入学手続期間

【前期日程】 令和5年3月8日（水）～ 15日（水）17時必着

【後期日程】 令和5年3月22日（水）～ 26日（日）17時必着

(2) 入学手続方法

入学手続書類等は本学所定の封筒に入れ、下記（3）入学手続書類等の送付先へ郵送（書留速達）するものとし、**入学手続期間内に必着**とします。期限後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しないので郵便事情等を考えて早めに送付してください（期間前到着は可、持参提出は不可）。やむを得ない事情により期間内に郵送で入学手続ができない場合は、必ず事前に入学手続書類等の送付先に電話で連絡してください。その後の入学手続は本学の指示に従ってください。

(3) 入学手続書類等の送付先

学 部	送 付 先
【教育学部・工学部・国際地域学部】 文京キャンパス	〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 福井大学学務部入試課 電話 0776-27-9927
【医学部】 松岡キャンパス	〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当 電話 0776-61-8830

(4) 入学手続時に要する経費

- ① 入学料 282,000円（予定額）
- ② 授業料 前期 267,900円【年額535,800円】（予定額）

注：ア．入学時又は在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。

イ．入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」で通知します。

ウ．納入された入学料は、返還しません。

(5) 留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、本学への入学の意思がなく入学を辞退したものととして取り扱います。
- ② 他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を行った者は、これを辞退して、本学に入学手続を行うことはできません。また、本学に入学手続を完了した者は、これを辞退して他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を行うことはできません。ただし、「後期日程」の合格者で入学手続きを完了した者が、「前期日程」の追試験を受験し合格者となった場合はこの限りではありません。なお、「後期日程」の合格者で、入学手続きの際に「前期日程」の追試験を受験する旨の申し出があった場合、入学料の納入を猶予することができます。該当者は、入学手続をする前に、学務部入試課又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当まで連絡してください。

- ③ 「前期日程」に合格し、当該大学の定める期日までに入学手続を行った者は、「後期日程」を受験してもその合格者とはなりません。

(6) 入学料免除・徴収猶予と授業料免除・徴収猶予

「大学等における修学の支援に関する法律」により、日本学生支援機構給付型奨学金受給者は、入学料・授業料の全部又は一部が免除となります。

また、経済的理由により入学料等の納付が困難であると認められる者に対しては、申請により選考の上、入学料及び授業料の徴収を猶予することがあります。

希望者は、合格通知書送付時に同封する入学手続要項及び「高等教育の修学支援新制度による支援を希望される方へ」を熟読し、入学料・授業料を振り込まずに所定の申請をしてください。

10. 追試験

(1) 追試験受験申請対象者

本学の一般選抜（前期日程・後期日程）に出願した者で、次のいずれかにより受験を取り止めた者は、追試験の受験を申請することができます。申請を受け付けた後、審査の上、追試験の受験の可否を決定します。なお、以下①④に該当する場合は、医師の診断書の提出が必要になります。

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊療養施設において療養中の者
 - ② 試験日時点で保健所等から濃厚接触者に該当するとされている者
 - ③ 海外から日本に入国して受験する場合、入国後の待機期間中（注）の者
 - ④ 試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい者が発熱・咳等の比較的軽い風邪の症状がある場合に、かかりつけ医等に相談の結果、受験を控えるよう診断された者
- （注）『入国後の待機期間』については、外務省ホームページを参照願います。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、追試験に関する内容に変更が生じる場合があります。その場合は、本学ホームページにて随時お知らせしますので、確認してください。

(2) 追試験受験申請手続

受験者又は代理人は、追試験の受験申請をする場合は、申請受付時間内に、次の連絡先に電話で連絡してください。

① 申請受付時間

	前期日程の追試験	後期日程の追試験
試験日より前	2月17日(金)～24日(金) 8:30～17:00(平日のみ)	3月3日(金)～10日(金) 8:30～17:00(平日のみ)
1日目	2月25日(土) 7:30～11:10	3月12日(日) 7:30～11:30
2日目 (※医学部医学科のみ)	2月26日(日) 7:30～10:00	

※医学部医学科において、2日目に申請できるのは、1日目の全科目を受験した者のみです。

② 連絡先

【教育学部・工学部・国際地域学部】 文京キャンパス	〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 福井大学学務部入試課 電話 0776-27-9927 FAX 0776-27-8010
【医学部】 松岡キャンパス	〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当 電話 0776-61-8830 ※FAX 番号は、電話連絡の際にお伝えします。

電話連絡の後、受験者又は代理人は、上記の連絡先に、次の「③申請書類」を受付当日中に FAX で送ってください。その後、申請書類提出期限までに申請書類を郵送（書留速達）してください。（「追試験受験申請書」は本学ホームページからダウンロードできます。）申請が認められた場合は、追試験受験許可書が交付されます。

③ 申請書類

- ・追試験受験申請書
- ・本学受験票の写し
- ・医師の診断書（治療期間が明記されているもの。期間の記載が困難な場合は、その理由が明記されているもの。）
※追試験受験申請対象者の①④該当者
- ・濃厚接触者であることを証明できる書類（初期スクリーニング〈自治体又は自治体から指示された医療機関が実施する PCR 等の検査（行政検査）〉の結果の写し）
保健所等の逼迫により、行政検査が実施できない場合はその旨の記載をすること。
※追試験受験申請対象者の②該当者
- ・入国後の待機期間中の者であることを証明できる書類（パスポートや入国に必要な検査証明書等の写し）
※追試験受験申請対象者の③該当者

④ 申請書類提出（郵送）期限

前期日程追試験	令和 5 年 3 月 3 日（金）17 時必着
後期日程追試験	※申請受付時の電話連絡の際に指示を受けてください。

【注意事項】

- (1) 個別学力検査等の実施科目等を 1 つ以上受験した場合は、追試験を申請することはできません。
- (2) 申請受付時間経過後は、いかなる理由があっても追試験の受験を申請することはできません。
- (3) 本学の審査により、追試験の受験が認められない場合があります。
- (4) 前期日程及び後期日程の両方の追試験を受験することはできません。
- (5) 前期日程試験に合格し、3 月 15 日までに入学手続を行った者は、「後期日程」の追試験を受験しても入学許可は得られません。
- (6) 追試験の追試験は実施しません。

（3）追試験の日程及び試験場

① 実施期日

令和 5 年 3 月 22 日（水）

※個別学力検査等の試験科目・試験時間・受験可否の基準等は、工学部を除き原則として本試験の

とおりとします。日程の詳細等については、この募集要項の各学部該当ページで確認してください。受験可否の基準は「7. 新型コロナウイルス感染症対応における受験可否の基準」を確認してください。

なお、追試験対象者には追って日程や試験実施方法等について連絡します。

◎追試験受験者への成績開示は行いません。

② 試験場

学 部	試 験 場	試 験 実 施 方 法
教 育 学 部	文京キャンパス	本 試 験 同 様
医 学 部	松岡キャンパス	本 試 験 同 様
工 学 部		大学入学共通テストの成績及び調査書を利用し、個別学力検査は実施しませんので、来学する必要はありません。なお、大学入学共通テストの利用教科・科目に変更はありません。
国 際 地 域 学 部	文京キャンパス	本 試 験 同 様

（４）試験当日等の注意事項

- ①試験場の下見は、3月20日（月）の14時から17時までの時間内に行うことができます。ただし、建物内への入場はできません。案内図は、それぞれのキャンパスに設置します。
- ②試験当日は、**インターネット出願サイトから印刷した本学の受験票、大学入学共通テストの受験票及び追試験受験許可書を必ず持参**し、試験室では机の上に置いてください。なお、受験票を忘失・紛失（又は破損）した場合には、係員に申し出て再発行などの措置を受けてください。
- ③試験当日は、試験開始時刻の20分前までに試験室に入室してください。ただし、教育学部の前期日程「実技型（体育）」の追試験受験者は8時30分までに第一体育館（62ページの配置図を参照）に集合してください。
- ④試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻から30分以内の遅刻に限り受験を認めますので、係員の指示に従ってください。なお、受験が認められた場合でも、試験時間の延長は認めません。ただし、面接は、集合時間に遅刻した場合、特別の事情がない限り受験を認めません。
- ⑤試験開始から試験終了までは、試験室からの退室を認めません。試験時間中に体調不良となった場合やトイレ等やむを得ない場合には、自席で手を挙げて監督者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも、休養室などでの受験はできません。また、一時退室した分の試験時間の延長も認められません。
- ⑥試験時間中は監督者の指示に従ってください。従わない場合や、不適切な行為のあった者は退室させることがあります。
- ⑦受験票及び追試験受験許可書のほかに、試験時間中机の上に置けるものは、黒鉛筆（HB 又は B、和歌・格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル（HB 又は B）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの）、目薬です。
- ⑧時計は、辞書・電卓・端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは使用できません。また、携帯電話、スマートフォン等を時計代わりに使用することはできません。
- ⑨耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合がありますので、使用できません。

⑩ 携帯電話，スマートフォン等の電子機器類等（注１）や音の出る機器は使用しないでください。試験室に入る前に電源を切って，教科書・参考書と一緒に**かばん等**に必ず入れてください。試験監督者からの携帯電話，スマートフォン等の電子機器類に関する注意や指示に従ってください。指示に従わない場合は，**不正行為**とみなすことがありますので，留意してください。

⑪ 試験時間中，監督者が試験室内の巡視を行います。その際，監督者が写真票により受験者の確認の為，顔を上げるよう指示することや，マスクやメガネ，帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。また，不正行為に見えるような行為は，監督者が注意する場合があります。

不正行為について

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を指示され，それ以後の受験はできなくなります。また，全ての教科・科目の成績を無効とします。

ア 志願票，受験票・写真票，解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。

イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること，教科書，参考書，辞書等の書籍類の内容を見ること，他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど。）をすること。

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

エ 配付された問題冊子を，その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

カ 「解答はじめ。」の指示の前に，問題冊子を開いたり解答を始めること。

キ 試験時間中に，定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具を使用すること。

ク 試験時間中に，携帯電話，スマートフォン等の電子機器類等（注１）を使用すること。

※イヤホンについては，耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中，病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は，受験上の配慮申請が必要です。）

ケ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 上記①以外にも，次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いは，①と同様です。

ア 試験時間中に，定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具や携帯電話，スマートフォン等の電子機器類等（注１），教科書，参考書，辞書等の書籍類を**かばん等**にしまわず，身に付けていたり手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど，試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて，自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。

カ その他，試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

（注１）携帯電話，スマートフォン等の電子機器類等については，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，ICレコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類を指します。

＜新型コロナウイルス感染症対策のための注意事項＞

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、原則受験者控室は設置しません。試験場内では、昼食時を除き、必ずマスクを正しく着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）してください。（アレルギーやむを得ない理由でマスクの着用が困難な場合は、原則2日前までにその旨学務部入試課（教育学部・国際地域学部）又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当（医学部）まで申し出てください。）休憩時間や昼食時等の他者との接触、会話を極力控えるようにしてください。
- (2) 試験室への入退出を行うごとに、備え付けのアルコール製剤で必ず手指消毒を行ってください。
- (3) 試験当日、試験室の換気のために窓の開放等を行う時間帯があるので、上着など暖かい服装を持参してください。
- (4) 昼食が必要な者は必ず持参してください。食事は黙食とし、休憩時間中に試験室内自席で適宜食事をしてください。
- (5) 試験が終了しても試験場内ではマスクを着用し続けてください。マスクを取り替えた場合であっても、試験場内にマスクを廃棄しないでください。試験終了後は、各自寄り道などはせず、なるべくまっすぐ帰宅してください。帰宅後はまず手洗いやうがいを行ってください。
- (6) 保護者等の付添人控室は、原則設置しません。ただし、やむを得ず付き添いが必要な場合は、入場を認めることがありますので、学務部入試課（教育学部・国際地域学部）又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当（医学部）まで事前に問い合わせてください。

(5) 合格者発表

次の日程で本学ホームページにおいて合格者の受験番号を掲載します。

<http://daigakujc.jp/u-fukui/> （パソコン・携帯電話共通）

【追試験（前期日程・後期日程）】令和5年3月26日（日）10時



【注意事項】

- (1) キャンパス掲示板での合格者発表は行いません。
- (2) 合格者発表直後は、回線が大変込み合うため、接続に時間がかかる場合があります。つながりにくい場合は、しばらく時間をおいてから再度アクセスしてください。
- (3) 合格者受験番号を本学ホームページ以外からのリンクにより閲覧した場合、その内容について本学は関与しません。やむを得ない事態が生じた場合、ホームページへの掲載を一時中断することがあります。
- (4) 合格者には合格通知書及び入学手続関係書類を速達郵便で送付します。不合格者への通知は行いません。また、電話等による照会には一切応じません。
- (5) 追試験合格者には、入学志願票の「志願者連絡先」の電話番号に連絡し、入学の意思確認を行うので、確実に連絡が取れる連絡先を記入するとともに、着信に十分注意してください。
- (6) 試験当日等に、JR福井駅や試験場周辺で可否電話やメール等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので、十分注意してください。

(6) 入学手続

合格者には合格通知書とともに入学手続関係書類を送付しますので、下記期間内に郵送又は持参により入学手続を行ってください。入学手続期間内に所定の入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。入学手続時には、「大学入学共通テスト受験票」が必要となります。

① 入学手続期間

【追試験（前期日程・後期日程）】 令和5年3月28日（火）～30日（木）17時必着
（持参の場合の受付時間：8：30～17：00）

② 入学手続方法

入学手続書類等は本学所定の封筒に入れ、下記 ③入学手続書類等の送付（提出）先へ**郵送（書留速達）又は持参するものとし、入学手続期間内に必着**とします。期限後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しないので郵便事情等を考えて早めに送付してください（期間前到着は可）。やむを得ない事情により期間内に入学手続ができない場合は、必ず事前に入学手続書類等の送付（提出）先に電話で連絡してください。その後の入学手続は本学の指示に従ってください。

③ 入学手続書類等の送付（提出）先等については、「9. 入学手続」（3）,（4）,（5）,（6）（14, 15ページ）を参照してください。

11. 欠員補充の方法

（1）追加合格

入学手続完了者が定員に達しない場合は、一般選抜（前期日程・後期日程・追試験）を受験し合格者とならなかった者の中から、令和5年3月28日（火）より合格者を追加します。この場合、追加合格者には、入学志願票の「志願者連絡先」の電話番号に連絡し、入学の意思確認を行うので、確実に連絡が取れる連絡先を記入するとともに、着信がないかどうか十分に注意してください。追加合格に係る入学手続は、該当者に直接指示します。ただし、他の国公立大学に入学手続を完了した者は、それを取り消して本学の追加合格者として入学手続を行うことはできません。

（2）欠員補充第2次募集

追加合格によっても、なお入学定員に欠員が生じた場合には、欠員補充第2次募集を行うことがあります。この募集を行う場合は、3月末に公表します。

出願できる者は、追試験（前期日程・後期日程）の合格者発表がなされた時点で、いずれの国公立大学にも合格していない者、および追試験（前期日程・後期日程）の合格者発表がなされた時点で国公立大学に合格していたが、この募集の出願時にいずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者に限ります。また、出願できるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、出願後に、他の国公立大学へ入学手続を行った場合においては、受験しても入学許可は得られません。

12. 障がいのある入学志願者等の事前相談

本学入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、令和5年1月17日（火）までに本学学務部入試課又は学務部松岡キャンパス学務課入試担当に事前相談の申請をしてください。また、期限後にやむを得ない事情等により申請が必要となった場合には、直ちに電話等により相談してください。

事前相談の申請方法や受験上の配慮の一例等については、本学ホームページの下記のページを確認してください。

【トップページ>受験生の方へ>入試情報・募集要項>障がいのある入学志願者等の事前相談】

また、追試験においても、原則として本試験において許可された受験上の配慮を行います。追試験の受験を申請する事由に起因して、新たに受験上等の配慮を希望する者は、追試験の受験申請の際に配慮を希望する旨を申し出てください。申請に基づき本学で審査の上、受験上等の配慮事項を決定し通知します。ただし、

本試験までに申請すべき内容であった場合には対象となりません。

13. 入学検定料免除（返還）

本学では、災害により被災した入学志願者の経済的負担を軽減し進学機会の確保を図るため、入学検定料に対する免除等の特別措置を講じます。免除の対象となる災害やその対象者、申請方法等の詳細については、本学ホームページの下記のページを確認してください。

【トップページ＞受験生の方へ＞入試情報・募集要項＞入学検定料返還・免除請求】

不明な点がある場合は、出願時までに学務部入試課に問い合わせてください。

14. 一般選抜における個人成績の開示

一般選抜の個人成績開示を希望する者は、次により申し込んでください。ただし、個別学力検査等を一部でも受験していない者、医学部医学科第1段階選抜不合格者及び追試験受験者については、開示を行いません。

開示成績：令和5年度福井大学一般選抜個人成績

申込期間：令和5年5月1日（月）～6月30日（金）必着

申込方法：①受験者本人に限ります（代理人は不可）。

②「福井大学入学試験個人成績開示申込書」、「本学受験票」（申し込み時まで要保管）及び「返信用封筒」（長形3号：本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、切手 414 円分貼付）を申込期間内に郵送又は持参してください。

※成績開示申込書は、「一般選抜学生募集要項」巻末、又は本学ホームページの下記のページからダウンロードしたものを利用してください。

【トップページ＞受験生の方へ＞入試データ＞入試成績開示】

申 込 先：【教育学部・工学部・国際地域学部】

〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1

福井大学学務部入試課

【医学部】

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当

開示方法：受験者本人あて簡易書留郵便で送付（受験票も返却）します（申込み後1ヶ月～1ヶ月半程度）。

開示内容：得点と順位的位置を、次のとおり文書で通知します。

- ・得点 【教育学部】総得点，大学入学共通テストの科目別得点，個別学力検査の総得点
 【医学部】総得点，大学入学共通テストの科目別得点，個別学力検査の総得点
 （医学科の第1段階選抜不合格者の開示は行いません。）
 【工学部】総得点，大学入学共通テスト及び個別学力検査の科目別得点
 【国際地域学部】総得点，大学入学共通テストの科目別得点，個別学力検査の総得点
- ・順位的位置 10段階ランク（合格者，不合格者，各5ランク）上の位置

15. 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備（学籍管理、履修準備含む）、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職

員以外に提供することはありません。

- (1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- (2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すことになります。）
- (3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない範囲で、学術研究の目的のために提供する場合
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る）を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に情報提供する場合

16. 入試過去問題活用宣言への参加

本学は、入試過去問題活用宣言に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認められる範囲で入試過去問題活用宣言に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

- (1) 入試過去問題活用宣言についての詳細及び参加大学の一覧については、次のホームページにて確認してください。

入試過去問題活用宣言 ホームページ (<http://www.nyushikakomon.jp/index.html>)

- (2) 入試過去問題を必ず使用するとは限りません。また、使用する際は、そのまま使用する場合も、一部改変して使用する場合があります。
- (3) 過去問題を使用した場合は、入学者選抜試験終了後、公表します。

Ⅱ 教育学部

1. アドミッション・ポリシー

(1) 教育学部で養成する人物像

公教育の担い手として多様な人々と協働できる人

教科・領域の専門性を横断的、系統的に身につけている人

学識に支えられた指導力により子どもたちの学習・発達を支援できる人

生涯にわたって学び続けることができる人

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

高等学校などで身につけた基礎学力の上に立って、主体的・協働的に学ぶことができる人

人間の教育や心理に興味を持ち、初等・中等教育における各教科の教育に強い関心を抱いている人

子どもの成長を支えられる豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を有している人

教育への情熱や探究心を持ち、学校を中心とする地域・社会の諸課題に積極的に取り組んでいこうとする人

(2-2) 入学前に学習しておくことが期待される内容

教育学部では、各自が専攻する教科・領域のみならず、高等学校段階までに学習する基礎的な知識・技能が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また、学修の過程では、ものごとを多面的にとらえ、地域や学校における実践コミュニティの一員として、地域に参画し、他者と協働し、生涯にわたって学び続ける主体性も求められます。これらのことから、高等学校段階では、各教科内容はもとより、他者との協働的な活動などそれ以外についても幅広く学習し、視野を広げておくことを期待します。

(3) 入学者選抜の基本方針

【一般選抜(前期日程)】

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、文系型・理系型の選抜では、選抜区分に応じた教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し、専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。実技型(音楽)の選抜では、実技検査、実技型小論文及び個人面接(口述試験を含む。)を実施し、専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。実技型(体育)の選抜では、実技検査、実技型小論文を実施し、専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。

【一般選抜(後期日程)】

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、教育、文化、科学・技術、人間の発達に関わる課題を扱った小論文を課し、専門分野の学習に必要な論理的思考力や表現力を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅰ】(大学入学共通テストを課さない)

○高大接続型(嶺南地域枠)

調査書、推薦書、志願理由書等により初等及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接(プレゼンテーションを含む。)と集団討論により、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○実技型(技術)

調査書、推薦書、志願理由書等により技術科で学ぶ者に求められる資質・能力、適性を評価します。また、実技検査、実技型小論文及び個人面接（口述試験を含む。）により、基礎的技能の程度と技術教育への興味・関心、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】(大学入学共通テストを課す)

○面接型(総合)

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。調査書、推薦書、志願理由書等により、初等及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接（プレゼンテーション及び口述試験を含む。）により、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○面接型(特別支援)

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。調査書、推薦書、志願理由書等により、特別支援教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接（プレゼンテーション及び口述試験を含む。）により、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○面接型(家庭)

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。調査書、推薦書、志願理由書等により、初等及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接（プレゼンテーション及び口述試験を含む。）により、家庭科教育に対する目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○実技型(音楽)

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。調査書、推薦書、志願理由書等及び個人面接（口述試験を含む。）により、音楽及び音楽教育に対する理解や意欲について評価します。また、実技検査では、ピアノ、声楽、管弦打楽器の選択課題により、表現の技能及び音楽性を評価します。

【総合型選抜Ⅰ(高大接続型入試)】(大学入学共通テストを課さない)

○実技型(美術)

第1次選考では、プレゼンテーション（プレゼンテーションの資料作成・口頭発表）と提出書類（調査書、志願理由書、自己推薦書等）により、初等及び中等教育を学ぶための資質、適性、および基礎学力を総合的に評価します。

最終選考では、実技検査（基礎的な造形力を素描にて考査）と個人面接（口述試験を含む。）により、教育の諸課題に主体的に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜(前期) 文系型・理系型	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査(教科)	○	○	
	調査書			○
一般選抜(前期) 実技型(音楽)	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	実技型小論文	○	○	
	個人面接 ¹	○	○	○
	調査書			○
一般選抜(前期) 実技型(体育)	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	実技型小論文	○	○	
	調査書			○
一般選抜(後期) 統合型	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	調査書			○
学校推薦選抜Ⅰ 高大接続型 (嶺南地域枠)	個人面接 ²	○	○	○
	集団討論	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
	資料 ¹	○	○	○
学校推薦選抜Ⅰ 実技型(技術)	実技検査	○	○	
	個人面接 ¹	○	○	○
	実技型小論文	○	○	
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦選抜Ⅱ 面接型(総合)	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接 ³	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦選抜Ⅱ 面接型 (特別支援)	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接 ³	○	○	○
	推薦書			○

	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦選抜Ⅱ 面接型（家庭）	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接 ³	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦選抜Ⅱ 実技型（音楽）	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	個人面接 ¹	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
総合選抜型Ⅰ 実技型（美術）	資料 ²	○	○	○
	実技検査	○	○	
	個人面接 ³	○	○	○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
	自己推薦書		○	○

○ 重視する

個人面接¹ 口述試験を含む。

個人面接² プレゼンテーションを含む。

個人面接³ プレゼンテーション及び口述試験を含む。

資料¹ 高等学校時代の取り組みや活動を説明する資料

資料² 高等学校等での取り組みとその成果に関するレポートや作品資料

2. 個別学力検査等の日程

日 程		課程・コース	選抜区分	試験科目等	試 験 時 間	備 考
前期日程	2月25日 (土) 〔追試験 3月22日 (水)〕	学校教育課程 初等教育コース 中等教育コース	文系型	国語（100分）	12:20～14:00	
				外国語（英語） （100分）	15:10～16:50	
			理系型	数学（110分）	9:20～11:10	試験時に一部選択問題 があります。
				国語（100分）	12:20～14:00	（出願時にどちらかを 選択）
				外国語（英語） （100分）	15:10～16:50	
			実技型 （音楽）	実技・面接・実技型 小論文	9:20～	
			実技型 （体育）	実技	9:20～	昼食及び実技型小論文 の開始時刻は変更する ことがあります。昼食 は各自持参してくださ い。
				（昼食）	（12:30～13:10）	
	実技型小論文	13:30～14:30				
後期日程	3月12日 (日) 〔追試験 3月22日 (水)〕	学校教育課程 初等教育コース 中等教育コース	統合型	小論文（120分）	9:30～11:30	

* 追試験の試験時間は追試験対象者に追って連絡します。

受験上の注意事項：

- ア．試験室には、受験する科目の試験開始時刻の 20 分前までに入室してください。
- ただし、実技型（体育）の選抜区分での志願者は 8 時 30 分までに第一体育館（62 ページの配置図を参照）に集合してください。
- イ．試験開始に遅刻した場合は、試験開始後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ウ．本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は、失格となります。
- エ．前期日程において、出願時に選択した教科・科目以外での受験はできません。

3. 入学者選抜方法等

- (1) 大学入学共通テスト並びに個別学力検査等及び調査書を総合して選抜します。
- (2) 前期日程、後期日程とも 2 段階選抜は実施しません。
- (3) 大学入学共通テストの利用教科・科目名、個別学力検査等の教科・科目名及びその配点については、「7. 入学者選抜の実施教科・科目等」（31・32 ページ）を参照してください。
- (4) 実技型小論文・小論文、面接、実技検査の内容等については、28～30 ページを参照してください。
- (5) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点が本学の定める基準に達していない場合は、募集人員内でも合格とならないことがあります。

4. 小論文，面接の内容（出題方針）等

日程	課程・コース，選抜区分，学科等		区 分	小論文，面接の内容（出題方針）等
前期日程	学校教育課程	初等教育コース 中等教育コース	実技型 小論文	試験当日に演奏する楽曲や，演奏技術・表現等についての課題を提示し，論理的思考力，表現力等を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。
			面 接	個人面接（口述試験を含む） 音楽や音楽教育に関する興味，意欲等 音楽に関する基礎的な知識 これまでの学習歴（音楽実技を中心に）について
		初等教育コース 中等教育コース	実技型 （体育） 実技型 小論文	保健体育・スポーツに関する文化，技術，社会に関わる課題を提示し，論理的思考力，表現力等を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。
後期日程		初等教育コース 中等教育コース	統合型 小論文	教育，文化，科学・技術，人間の発達に関わる課題を提示して論述させ，論理的思考力，表現力を総合的に評価します。資料や文献を用いることもあります。

5. 実技検査内容

日程	課程	コース・ 選抜区分名	実 技 検 査 等 の 内 容
前期 日程	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース 実技型 (音楽)	実 技 1. ピアノ実技 2. 次の2つからどちらかを選択する。 ①声楽実技 ②管弦打楽器実技（オーケストラ，吹奏楽で通常使用される楽器に限る。判断が難しい場合は，問い合わせをしてください。） 各実技の課題は次の通りとする。 ○ピアノ実技 古典派のピアノ・ソナタより任意の1曲を選び，第1楽章または終楽章を暗譜で演奏する。 注1：繰り返しは省略すること。 2：途中で演奏を止めることがある。 ○声楽実技 以下の4曲のうち，1曲を選んで当日暗譜で演奏する。 【令和5年度一般選抜声楽実技課題曲】 ・浜辺の歌（成田為三 作曲，林古溪 作詞） ※2番まで（3番は省略） ・雪の降るまちを（中田喜直 作曲，内村直也 作詞） ・Nina（伝 Giovanni Battista Pergolesi 作曲） ・Danza, fanciulla gentile（Francesco Durante 作曲） 注1：イタリア歌曲は原語で演奏すること。調性は出版されている楽譜に掲載されている調であれば自由。手書き，パソコンなどによる移調は不可。 2：伴奏は伴奏担当者が行うため，出願時に必ず伴奏譜を添付のこと。伴奏譜は譜めくりの必要がないように横一列（屏風型）に貼り合わせておくこと。 3：演奏前に伴奏担当者がテンポを確かめるので，おおよそのテンポを口頭で示すこと。 4：途中で演奏を止めることがある。 ○管弦打楽器実技 任意の1曲を演奏すること。 注1：伴奏はなしで演奏すること。出願時に必ず楽譜を添付のこと。 2：繰り返しは省略すること。 3：途中で演奏を止めることがある。

			実 技 1. 基礎的運動能力に関する課題（スポーツ庁新体力テストに準ずる課題） 2. スポーツスキルに関する基礎的課題 注：イ. スポーツウェアと屋内シューズを用意してください。 ロ. 必要に応じて、飲み物、汗ふきタオル等を用意してください。 ハ. 必要な用具は本学で準備します。
		実技型 (体育)	

6. 注意事項

- (1) 本学が指定した令和5年度大学入学共通テストの教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者となり、個別学力検査等を受験することができません。志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。
- (2) 受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、高得点の教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」、「公民」及び「理②」の科目において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。
- (3) 初等教育コースと中等教育コースの両方に募集人員のある選抜区分については、初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とし、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。
- (4) 個別学力検査の選択科目は、出願時に選択してください。

7. 入学者選抜の実施教科・科目等

学部・課程・コース名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											備考
		教科	科 目 名 等			教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	実技等	調査書等	配点 合計			
学 校 教 育 課 程	文系型 初等教育コース (13) 中等教育コース (8)	国	「国」	「世入」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」	から2	外国	「コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ」 「国語総合・現代文B・古典B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定の資料とする	共通テスト	200	200	100	100	*100	*100	200				900		
		地歴 公民 政治	「地歴」「世入」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」 「公民」「現社」,「倫」,「政経」	から1			個別学力検査	300								300		○	600		
	理系型 初等教育コース (11) 中等教育コース (8)	国	「国」	「世入」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」	から1	教 国 外	「教Ⅰ・教Ⅱ・教Ⅲ・教Ⅳ・教Ⅴ・教Ⅵ・教Ⅶ・教Ⅷ・教Ⅸ・教Ⅹ・教Ⅺ・教Ⅻ・教Ⅼ・教Ⅽ・教Ⅾ・教Ⅿ・教ⅰ・教ⅱ・教ⅲ・教ⅴ・教ⅵ・教ⅶ・教ⅷ・教ⅸ・教ⅹ・教ⅺ・教ⅻ・教ⅼ・教ⅽ・教ⅾ・教ⅿ														

(2) 後期日程

[令和5年度]

[illegible]

(3) 注意（前期日程・後期日程共通）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

○受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。

ただし、「地歴」、「公民」及び「理②」の科目において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。

○「理①」及び「理②」から3科目を受験している場合は、「理①」2科目合計の得点又は「理②」の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。

○「地歴」、「公民」と「理②」で4科目受験している場合（「地歴」、「公民」2科目+「理②」2科目），以下のように成績をうめます。

①「地歴」，「公民」の第1解答科目

②「理②」の第1解答科目

③「地歴」、「公民」及び「理②」の第2解答科目のうち得点の高い科目

◎「地歴」，「公民」及び「地理」の第2種各科目のうち得点の高い科目
○「地歴」においては、同一名称のA・B出題科目。「公民」においては、同一名称を含む出題科目。同一の出題はできません。

○「情報」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

○外国語「英」は、リーディングの得点(100満点)を150に:
リスニングの得点(100満点)を50に換算し、
合計得点(200満点)を本学の配点に換算します。
ただし、リス

[illegible]

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

○ *印は選択を示します。

○「100/400」という表記は、個別学力検査でその教科・科目を選択しなかった場合は100点、選択した場合は合計400点とすることを示します。

○ 実技型小論文の配点〇は、実技の配点に含まれます。

【個別学力検査等の実施科目等】欄

○ 数学の出題範囲は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」の全範囲とします。「数学B」は、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

Ⅲ 医学部

1. アドミッション・ポリシー

(1) 医学部で養成する人物像

医 学 科	① 高い倫理観・責任感、優れた共感力とコミュニケーション力を備えた患者中心の医療を 実践できる臨床医を育成する。 ② 医学および関連領域の知識と技能を応用して、医療における高度専門職業人として活躍 できる医師・医学研究者を育成する。 ③ 地域のニーズを踏まえた地域医療を実践できるとともに、グローバルな視点に立って医 療の国際化に貢献できる臨床医を育成する。
看 護 学 科	① 高い倫理観・責任感、良識ある人間性とコミュニケーション力を備えた対象者中心の看 護を実践できる看護師・保健師・助産師を育成する。 ② 看護学及び関連領域の知識と技能を応用し、高度専門職業人として活躍できる看護師・ 保健師・助産師を育成する。 ③ 地域のニーズを踏まえた看護を実践できるとともに、ローカルな視点に立ち「ふくい」 の地域医療に貢献できる看護師・保健師・助産師を育成する。

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

医 学 科	① 医師となるにふさわしい豊かな人間性、周囲との協調性、コミュニケーション力、責任 感を有する人 ② 奉仕の精神を持ち、人を思いやり、尊重することのできる人 ③ 医学教育内容を十分理解するために必要な幅広い基礎学力と応用能力に富み、自ら学び 続ける学修意欲のある人 ④ 医学・医療を通じて地域社会や国際社会に貢献しようとする強い情熱と意欲を持つ人 ⑤ 地域を愛し、医師として地域医療に貢献することを望む人 ⑥ 医学・生命科学に強い関心をもち医学研究者になることを望む人
看 護 学 科	① 看護に関心を持ち、将来看護職として、地域医療に貢献したいと考える人 ② 倫理的感性を有し、人間の尊厳と権利を尊重することができる人 ③ グローバル化が進展する社会に関心をもつことができる人 ④ 基礎学力の上にたって、人と地域社会に関心をもって学習に臨める人 ⑤ 協調性がありコミュニケーション能力のある人 ⑥ 誠実な心を持ち、主体的で意欲のある人

(2-2) 入学前に学習しておくことが期待される内容

医学科では、高等学校段階までの数学や理科、英語をしっかりと学び、加えて国語、地歴公民などを
含む5教科を総合的に学び、基礎学力が十分身につけていることが必要です。5教科を広く学ぶことで
医学を学び生かす基礎学力と応用能力を養い、その中で人間性や協調性、責任感を身につけることを期
待します。(医：学生像①－⑤)

医学科学士編入では、理系大学教養課程修了に相当する基礎学力（生命科学関連、英語等）、応用能力、学修意欲が十分身についていることが必要です。その中で医学における人間性や協調性、責任感共感力やコミュニケーション力、学士としての経験や意欲が醸成されていることを期待します。（医：学生像⑥）

看護学科では、高等学校段階までの数学、理科、英語、国語、地歴公民などの5教科について基礎学力が幅広く十分身についていることが必要です。その中で人間性やコミュニケーション力を養い、基礎学力の上に立って人と地域社会に関心をもって学習に臨むことを期待します。（看：学生像①②）

(3) 入学者選抜の基本方針

【入学者選抜の基本方針】

医 学 科	様々な資質・背景を持つ多様な人に広く門戸を開くため、次のような選抜方法を行っています。全ての試験に面接試験を課し、医師としての資質・適性・将来性を判断することにより、「求める学生像」に相応しい人の選抜に努めています。 ①一般選抜（前期日程） 高等学校卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、大学入学共通テスト、個別学力検査、面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストに加え、個別学力検査を課し、医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価します。 ②一般選抜（後期日程） 高等学校卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、大学入学共通テスト、小論文、面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストに加え、小論文を課し、医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価します。 ③学校推薦型選抜Ⅱ：全国枠 学習成績や人格に優れた者として高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績で医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査によって「求める学生像」に相応しい人を選抜します。 ④学校推薦型選抜Ⅱ：地域枠 学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する福井県内の高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者等に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。 ⑤学校推薦型選抜Ⅱ：福井健康推進枠 学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。 ⑥学士編入学 大学卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、個別学力検査、書類審査及び面接の成績を総合的に評価して選抜します。個別学力検査では理系大学教養課程修了に相当する基礎学力（生命科学関連、英語等）を評価します。面接では学士としての見識と経験、医学を学ぶ目的と強い意欲を判断します。合格者は2年次前期（4月）に編入します。
-------------	---

看護学科	「求める学生像」にふさわしい者を選抜するため、多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。また、全ての試験に面接を課し、看護を学ぶ意欲・積極性・表現力・協調性・一般的態度を評価することにより、アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜に努めています。 ①一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校卒業者及び同等以上の学力があると認めた者に対し、大学入学共通テスト、小論文、面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストでは高等学校等での教科面における学習達成度を評価します。小論文及び面接では、看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに、調査書により受験者の資質を評価します。 ②学校推薦型選抜Ⅰ 人物、学力ともに優秀であると高等学校長から推薦された高等学校卒業見込者に対し、小論文、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。小論文及び面接では、看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに、書類審査により受験者の資質を評価します。
------	--

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の 3 要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。

【医学科】

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書			○
	志願理由書		○	○
	調査書	○		○
学士編入学	個別学力検査（自然科学総合）	○	○	
	志望理由書		○	○
	成績証明書	○		
	面接	○	○	○

○は重視するもの

【看護学科】

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書			○
	志願理由書		○	○
	調査書	○		○

○は重視するもの

2. 個別学力検査等の日程

日 程		学 科	試 験 科 目 等	試 験 時 間
前期日程	2月25日（土） 〔追試験 3月22日（水）〕	医 学 科	数 学（110分）	9:20～11:10
			理 科（物理基礎・物理，化学基礎・化学， 生物基礎・生物）（120分） （試験時に2科目を選択）	12:20～14:20
			外 国 語（英 語）（110分）	15:10～17:00
		看護学科	小 論 文（90分）	9:20～10:50
			面 接	12:20～
	2月26日（日） 〔追試験 3月22日（水）〕	医 学 科	面 接	9:30～
後期日程	3月12日（日） 〔追試験 3月22日（水）〕	医 学 科	小 論 文（90分）	9:30～11:00
		看護学科	面 接	13:00～

* 追試験の試験時間は追試験対象者に追って連絡します。

受験上の注意事項：

ア．試験室には，受験する科目の試験開始時刻の20分前までに入室してください。

前期日程の面接における集合時間については，2月25日（土）の試験終了時までには試験場入口に掲示します。

イ．試験開始に遅刻した場合は，試験開始後30分以内に限り，受験を認めます。

ただし，面接は，集合時間に遅刻した場合，特別の事情がない限り受験を認めません。

ウ．本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は，失格となります。

3. 入学者選抜方法等

（1）大学入学共通テスト並びに個別学力検査等及び調査書の内容を総合して選抜します。

（2）医学科の前期日程・後期日程において，2段階選抜を実施します。その第1段階選抜の合格者に対してのみ個別学力検査等を実施します。看護学科では，2段階選抜は行いません。

① 2段階選抜

志願者数が前期日程で募集人員の約5倍を超えた場合，後期日程で募集人員の約7倍を超えた場合に，大学入学共通テストの利用教科・科目の配点による成績の総得点により，前期日程は募集人員の約5倍，後期日程は募集人員の約7倍の範囲内で合格者とする第1段階選抜を行うことがあります。その場合には，第1段階選抜合格者に対してのみ個別学力検査等を実施します。

2段階選抜を実施する場合の第1段階選抜可否は，前期日程，後期日程ともに令和5年2月14日（火）に，志願者全員に第1段階選抜結果通知書を送付します。併せて，同日16時に本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）においても第1段階選抜合格者の受験番号を掲載します。

なお，2段階選抜を実施しない場合は，その旨をホームページで公表します。

② 第1段階選抜不合格者に対する検定料の一部返還についての取扱い

第1段階選抜不合格者に対しては，検定料の一部（13,000円）を返還しますが，その手続方法等については，第1段階選抜結果通知の際に関係書類を同封するので，該当者は令和5年3月31日（金）までに所定の手続をとってください。

- (3) 大学入学共通テストの利用教科・科目名，個別学力検査等の教科・科目名及びその配点については，「6. 入学者選抜の実施教科・科目等」（40ページ）を参照してください。
- (4) 大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点が本学の定める基準に達していない場合は，募集人員内でも合格とならないことがあります。

4. 小論文，面接の内容（出題方針）等

日程	学 科	区 分	小論文，面接の内容（出題方針）等
前期日程	医 学 科	面 接	個人面接により人間性，自主性，思考力，表現力，責任感など医学科学生としての適性，能力を評価します。
	看護学科	小論文	国際・地域の諸課題を提示し，課題の理解力，論理の構成力，文章表現力等を総合的に評価します。
		面 接	個人面接により看護・社会に関心を持ち，看護学を学ぶ積極性，表現力等，看護学生としての適性や能力等に加え，地域医療に対する意欲についても評価します。
後期日程	医 学 科	小論文	課題（和文，英文の両方又はいずれかで出題されます）の理解力，論理の構成力，文章表現力等を評価します。
		面 接	個人面接により人間性，自主性，思考力，表現力，責任感など医学科学生としての適性，能力を評価します。
	看護学科	小論文	医療・看護・健康に関する諸課題を提示し，課題の理解力，論理の構成力，文章表現力等を総合的に評価します。
		面 接	個人面接により看護に関心を持ち，看護学を学ぶ意欲及び積極性，表現力，一般的態度等を評価します。

5. 注意事項

本学が指定した令和5年度大学入学共通テストの教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者となります。また，「地歴」，「公民」及び看護学科「理②」の科目において，2科目受験者の成績の利用は，第1解答科目の得点を採用します。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には，無資格者となりますので，志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。なお，出願無資格者であることが判明した者は，個別学力検査を受験することができません。

6. 入学者選抜の実施教科・科目等

前期日程			大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考									
学部・学科名			科 目 名 等				教科等	科 目 名 等			試験の区分		国語		地理 歴史		公民		数 学		理 科		外国語		実 技 等		調査書等		配点 合計	
医 学 科	前期(55)	医 学 科	【国語】「国語」				数 理	【数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ・数Ⅵ】から2			共通テスト	200		100		100		200		200		200						900		
			【物理基礎・物理】から2																					700						
学 部	前期(55)	看護学 科	【国語】「国語」				数 理	【数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ・数Ⅵ】から2			共通テスト	200		100		100		200		200		200						1600		
			【物理基礎・物理】から2																			700								
学 部	前期(30)	看護学 科	【国語】「国語」				数 理	【数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ・数Ⅵ】から2			共通テスト	200		100		100		200		200		200						800		
			【物理基礎・物理】から2																			250								
学 部	前期(30)	看護学 科	【国語】「国語」				数 理	【数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ・数Ⅵ】から2			共通テスト	200		100		100		200		200		200						1050		
			【物理基礎・物理】から2																	250										

後期日程

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												備考																																																																																																																																																																																																																																																																					
		教科	科 目 名 等			教科等	科 目 名 等	試験の区分		国語		地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	実 技 等	調査書等	配点 合計																																																																																																																																																																																																																																																																							
			国語	「世B」,「日B」,「地理B」	から1			「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1		「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外			「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外	「国」 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「世B」,「日B」,「地理B」	から1	「倫・政経」 数①・数A 「数Ⅰ・数B」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「物理」,「化学」,「生物」から2 「英」 外

(1) 注意 (前期日程・後期日程共通)

医学部医学科においては、志願者数が前期日程で募集人員の約5倍を超えた場合、後期日程で募集人員の約7倍を超えた場合に、大学入学共通テストの利用教科・科目の配点による成績の総得点により、前期日程は募集人員の約5倍、後期日程は募集人員の約7倍の範囲内で合格者とすると第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、第1段階選抜合格者に対してのみ個別学力検査等を実施します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

- 「地理」、「公民」及び看護学科の「理②」の科目において、2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。
- 「簿」、「情報」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 医学部看護学科において、「理①」2科目及び「理②」1科目の3科目を受験している場合は、「理①」2科目合計の得点又は「理②」の得点のうち、いずれか高い成績を採用します。
- 外国語「英」は、リーディングの得点(100点満点)を150点に、リスニングの得点(200点満点)を50点に換算し、合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」のリーディングの得点(100点満点)を本学の配点に換算します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- *印は選択を示します。

【個別学力検査等の実施教科等】欄

- 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」は、「数Ⅰ」、「数Ⅱ」を出題範囲とします。
- 「物理基礎・物理」は、「物理基礎」と「物理」の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は、「化学基礎」と「化学」の全範囲から出題します。
- 「生物基礎・生物」は、「生物基礎」と「生物」の全範囲から出題します。
- 面接の評価が著しく低い場合には、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。

Ⅳ 工学部

1. アドミッション・ポリシー

(1) 工学部で養成する人材像

工学部では、「安全で安心な社会の創造」に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。この方針のもと、人材養成の基本コンセプトとして「グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者“グローバルイマジニア”の育成」を掲げ、安全で安心な社会の創造のための知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力、さらに歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を備えた高度専門技術者を養成します。

各学科では、以下のような人材を養成します。

機械・システム工学科	多種多様な革新的機械・システム技術の創造や原子力の安全性向上に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成します。
電気電子情報工学科	電気工学から発し、歴史とともに拡大・細分化してきた通信工学，半導体工学，計算機工学，情報工学の学問分野を広くカバーするカリキュラムにより，電気系，情報系の学問基礎の体系的な修得と両分野に跨る分野横断的な応用力と実践力を有する人材を養成します。
建築・都市環境工学科	建築学と土木工学を基礎とし，ますます顕在化する社会基盤施設の維持・保全管理，国土の強靱化，少子高齢化社会への対応，環境調和型の生活空間の構築等，安全・安心で快適な社会生活環境の実現に貢献する実践力ある人材を養成します。
物質・生命化学科	高性能・高機能な材料・繊維の創製に向けた教育・研究，化学製品の合成・開発・利用を指向した物質の探求，医学・農学と工学の融合分野への応用を目指したバイオテクノロジー教育などを通じて，持続可能で豊かな社会の実現に向けて，地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる人材を養成します。
応用物理学科	工学の幅広い分野に対応できる確固とした理工学の知識・思考方法・応用能力を修得するとともに，総合的な実践力や産業関連知識を自ら学び，課題解決につなげる力，グローバルな行動力，倫理観を身につけた物理を中心とした基礎科学を応用展開できる人材を養成します。

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

工学部では、養成する人材像を踏まえ、以下のような学生を求めます。

1. グローバルイマジニアとして地域社会や国際社会に貢献する意欲を有する人
2. 高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、理工学分野の基礎となる知識及び実践力を習得している人
3. 正確な文章読解，論理的な記述，適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
4. 豊かな人間性，周囲との協調性，奉仕の精神を有し，柔軟な発想力をもって課題解決に向け主体的に行動できる人

特に，各学科では以下のような入学者を求めます。

機械・システム工学科	1. ものづくりに興味があり，機械工学・ロボティクス・原子力安全工学の基礎となる数学や理科が好きな人 2. 機械工学・ロボティクス・原子力安全工学に関する専門的な知識を身につけたい人 3. 機械工学・ロボティクス・原子力安全工学のエンジニアとして，ものづくりにより社会に貢献する意欲を有する人
電気電子情報工学科	1. 電気・電子・情報分野を伝承するとともに，新たな創造に挑戦したい人 2. 電気，電子，コンピュータを学ぶための数学や物理が好きな人 3. 論理的思考力を問題解決に活かしたい人
建築・都市環境工学科	1. 建物のデザインや安全性，建築環境の改善や創造に興味を持つ人 2. 社会基盤や都市のデザイン，安全性，都市環境の改善や創造に興味を持つ人
物質・生命化学科	1. 物質や生命の不思議にワクワクする人 2. 創造する化学にチャレンジしたい人 3. 新素材，繊維，バイオに興味がある人
応用物理学科	1. 物理や数学に基づいて，ものごとを基本に返って考える能力を有する人 2. 先端科学技術分野への強い興味を持つ人 3. ものづくりや実験の基礎となる知識・技能を有している人

(2-2) 入学までに学習しておくことが期待される内容

工学部では，高等学校段階までの数学や理科に関する基礎学力が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また，それら以外の教科に関する知識も，ものごとを多面的にとらえ，専門知識を「安全で安心な社会の創造」に結び付けるための基礎となります。これらのことから，高等学校段階では，数学や理科はもちろん，それ以外についても幅広く学習し，視野を広げておくことを期待します。

（３）入学者選抜の基本方針

多様な背景を持った学生の受入れを進めるため、一般選抜（前期日程、後期日程）、学校推薦型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅱ、私費外国人留学生選抜、第３年次編入学入試を実施します。それぞれの選抜においては、求める学習成果を踏まえ、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

【一般選抜】

大学入学共通テスト並びに個別学力検査及び調査書を用いて評価・判定します。

<前期日程>

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科	大学入学共通テスト（５教科 ７科目）により、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、個別学力検査（数学、物理）により、数学と物理に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。
建築・都市環境工学科 物質・生命化学科	大学入学共通テスト（５教科 ７科目）により、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、個別学力検査（数学、物理又は化学）により、数学と物理又は化学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

<後期日程>

全 学 科	大学入学共通テスト（５教科 ７科目）により、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、個別学力検査（数学）により、数学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。
-------	--

【学校推薦型選抜Ⅰ】

出身学校長の推薦に基づいて、大学入学共通テストを免除し、調査書等を活用して評価・判定します。

電気電子情報工学科	大学入学共通テストを免除し、推薦書、調査書、志願理由書及び面接（口述試験を含む）の結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。
建築・都市環境工学科 （高大接続型入試）	大学入学共通テストを免除し、推薦書、調査書、志願理由書、面接（口述試験を含む）及びプレゼンテーションの結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。

【総合型選抜Ⅱ】

大学入学共通テスト、書類審査、面接等を組み合わせて評価・判定します。

全 学 科 共 通	第１次選考では、書類審査により文章力や自己アピール力等の評価を行うとともに、調査書等に基づいて基礎学力の評価を行います。最終選考では、大学入学共通テストにより基礎学力を総合的に評価し、さらに面接（口述試験を含む）により、目的意識・意欲、表現力等の評価及び理数系科目の学力を評価します。以上を総合して、能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を評価・判定します。
-----------	--

【私費外国人留学生選抜】

真に修学を目的とした志願であることの確認も含め、能力・意欲・適性等を評価・判定します。

全 学 科 共 通	日本留学試験及び TOEFL の成績、並びに、面接、口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある）及び出願書類により、日本語能力と理数系科目の学力を中心とした能力、意欲、適性、目的意識等を総合的に評価・判定します。
-----------	---

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。多面的・総合的な評価・判定を行うにあたり重視するものに○を付しています。ただし、○を付していないものでも、その評価結果が著しく低い場合には、判定に大きく影響します。

学力の3要素		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性・多様性・協働性	
求める学習成果		・高等学校段階までに学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能 ・工学部における学修の基礎である数学や理科に関する知識・技能		・左記の知識・技能を課題の解決につなげるための思考力・判断力・表現力		・志望する学科の専門分野に対する強い興味 ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜 (前期日程)	全学科	○	大学入学共通テスト	○	大学入学共通テスト ○ 個別学力検査		調査書
一般選抜 (後期日程)	全学科	○	大学入学共通テスト	○	大学入学共通テスト ○ 個別学力検査		調査書
学校推薦型選抜Ⅰ	EI	○	調査書 面接（口述試験を含む）	○	面接（口述試験を含む） 志願理由書	○	推薦書、調査書、志願理由書 面接（口述試験を含む）
学校推薦型選抜Ⅰ (高大接続型入試)	AC	○	調査書 面接（口述試験を含む）	○	面接（口述試験を含む） 志願理由書	○ ○	推薦書、調査書、志願理由書 面接（口述試験を含む） プレゼンテーション
総合型選抜Ⅱ	全学科	○	大学入学共通テスト 調査書	○	大学入学共通テスト ○ 面接（口述試験を含む） 志願理由書 自己推薦書	○	自己推薦書、調査書、志願理由書 面接（口述試験を含む）
私費外国人留学生選抜	全学科	○	日本留学試験 成績証明書 ○ TOEFL	○	面接及び口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある）	○	面接及び口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある）

MS:機械・システム工学科, EI:電気電子情報工学科, AC:建築・都市環境工学科, MB:物質・生命化学科, AP:応用物理学科

2. 個別学力検査等の日程

日 程		学 科	試 験 科 目 等	試 験 時 間
前 期 日 程	2月25日（土）	全 学 科	数学（110分）	9:20～11:10
		機 械 ・ シ ス テ ム 工 学 科 電 気 電 子 情 報 工 学 科 応 用 物 理 学 科	理科（物理基礎・物理）（110分）	12:20～14:10
		建 築 ・ 都 市 環 境 工 学 科 物 質 ・ 生 命 化 学 科	理科（物理基礎・物理） 理科（化学基礎・化学） （110分） （試験時に1科目を選択）	
後 期 日 程	3月12日（日）	全 学 科	数学（110分）	9:30～11:20

受験上の注意事項：

- ア．試験室には、受験する科目の試験開始時刻の20分前までに入室してください。
- イ．試験開始に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。
- ウ．本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は、失格となります。

3. 入学者選抜方法等

- （1）大学入学共通テスト並びに個別学力検査等及び調査書を総合して選抜します。
- （2）工学部では、前期日程、後期日程とも2段階選抜は実施しません。
- （3）大学入学共通テストの利用教科・科目名、個別学力検査等の教科・科目名及びその配点については、「5. 入学者選抜の実施教科・科目等」（46・47ページ）を参照してください。
- （4）大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の科目の得点为本学の定める基準に達していない場合は、募集人員内でも合格とならないことがあります。

4. 注意事項

本学が指定した令和5年度大学入学共通テストの教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者となります。また、「地歴」、「公民」の科目において、2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。本学は出願期間終了後に大学入試センターからのデータに基づいてのみ、この確認を行いますので、**志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認**してください。
なお、**出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査を受験することができません。**

5. 入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 前期日程

〔令和5年度〕

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考	
	学部・学科名	教科	科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地理 歴史	数 学				理 科		外国語	実技等		調査書等	配点 合計	
										①	②	③	④	①	②		面接	小論文			その他
機械・システム工学科 前期(75)	機械・システム工学科 前期(75)	国	「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」, 「現代」,「倫」,「政経」 「数Ⅰ・数A」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「生物」,「地学」から2 「物理」,「化学」,「生物」,「中」,「健」から1 「英」,「独」,「仏」,「中」,「健」から1	} から1	数 理 調査書等	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	共通テスト	200	100	100	100	100	200	200						900	
		公民																			
		数①																			
		数②																			
		理②																			
		外																			
電気電子情報工学科 前期(68)	電気電子情報工学科 前期(68)	国	「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」, 「現代」,「倫」,「政経」 「数Ⅰ・数A」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「生物」,「地学」から1 「物理」,「化学」,「生物」,「中」,「健」から1 「英」,「独」,「仏」,「中」,「健」から1	} から1	数 理 調査書等	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	共通テスト	200	100	100	100	100	200	200					900		
		公民																			
		数①																			
		数②																			
		理②																			
		外																			
建築・都市環境工学科 前期(30)	建築・都市環境工学科 前期(30)	国	「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」, 「現代」,「倫」,「政経」 「数Ⅰ・数A」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「生物」,「地学」から2 「物理」,「化学」,「生物」,「中」,「健」から1 「英」,「独」,「仏」,「中」,「健」から1	} から1	数 理 調査書等	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	共通テスト	200	100	100	100	100	200	200					900		
		公民																			
		数①																			
		数②																			
		理②																			
		外																			
物質・生命化学科 前期(75)	物質・生命化学科 前期(75)	国	「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」, 「現代」,「倫」,「政経」 「数Ⅰ・数A」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「生物」,「地学」から2 「物理」,「化学」,「生物」,「中」,「健」から1 「英」,「独」,「仏」,「中」,「健」から1	} から1	数 理 調査書等	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	共通テスト	200	100	100	100	100	200	200					900		
		公民																			
		数①																			
		数②																			
		理②																			
		外																			
応用物理学科 前期(18)	応用物理学科 前期(18)	国	「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」, 「現代」,「倫」,「政経」 「数Ⅰ・数A」,「簿」,「情報」から1 「数Ⅱ・数B」,「生物」,「地学」から1 「物理」,「化学」 「英」,「独」,「仏」,「中」,「健」から1	} から1	数 理 調査書等	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	共通テスト	200	100	100	100	100	200	200					900		
		公民																			
		数①																			
		数②																			
		理②																			
		外																			

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等				個別学力検査等の実施科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考	
教科		科 目 名 等				教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	実技	面接	小論文	その他	調査書等	配点 合計
									①	②	①	②	①	②						本人の記載 する資料	
機械・システム工学科 後期(65)	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」	} から1		数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	共通テスト	200	100	100	100	200	200	200							900
	地歴 公民 数① 数② 理② 外	「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする			個別学力検査			300											○		300
	計	200	100	500	200	200	200	200												1200	
	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」	} から1		数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	共通テスト	200	100	100	100	400 物理 300 選択科目 100									1100
地歴 公民 数① 数② 理② 外	「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	個別学力検査					400											○		400	
計	200	100	600	400	200	200	200													1500	
建築・都市環境工学科 後期(17)	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」	} から1		数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	共通テスト	200	100	100	100	200	200								900
	地歴 公民 数① 数② 理② 外	「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする			個別学力検査			300											○		300
	計	200	100	500	200	200	200	200												1200	
	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」	} から1		数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	共通テスト	200	100	100	100	400 選択科目 各200									1100
地歴 公民 数① 数② 理② 外	「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	個別学力検査					200											○		200	
計	200	100	400	400	200	200	200													1300	
物質・生命化学科 後期(40)	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」	} から1		数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	共通テスト	200	100	100	100	200	200								900
	地歴 公民 数① 数② 理② 外	「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする			個別学力検査			400											○		400
	計	200	100	600	200	200	200	200												1300	
	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」	} から1		数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	共通テスト	200	100	100	100	200	200								900
地歴 公民 数① 数② 理② 外	「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	個別学力検査					400											○		400	
計	200	100	600	200	200	200	200													1300	
応用物理学科 後期(27)	国	「世A」,「世B」,「日A」,「日B」, 「地理A」,「地理B」	} から1		数	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする	共通テスト	200	100	100	100	200	200								900
	地歴 公民 数① 数② 理② 外	「調査書」 ※調査書については点数化しないが総合判定 の資料とする			個別学力検査			400											○		400
	計	200	100	600	200	200	200	200												1300	

(1) 注意 (前期日程・後期日程共通)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

- 「地歴」,「公民」の科目において,2科目受験者の成績の利用は,第1解答科目の得点を採用します。
- 「簿」,「情報」を選択解答できる者は,高等学校又は中等教育学校において,これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- (後期日程)電気電子情報工学科の「理②」は,「物理」の得点を300点に,「化学」,「生物」から選択した1科目を100点に換算し,合計得点(400点満点)を本学の配点に換算します。
- (後期日程)物質・生命化学科の「理②」は,「物理」,「化学」,「生物」から選択した2科目をそれぞれ200点に換算し,合計得点(400点満点)を本学の配点に換算します。
- 外国語「英」は,リーディングの得点(100点満点)を50点に換算し,リスニングの得点(100点満点)を50点に換算し,合計得点(200点満点)を本学の配点に換算します。ただし,リスニングを免除されている場合には,「英」のリーディングの得点(100点満点)を本学の配点に換算します。

【個別学力検査等の実施科目等】欄

- 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」は,「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」の全範囲から出題します。「数学B」は,「数列」,「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「物理基礎・物理」は,物理基礎,物理の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は,化学基礎,化学の全範囲から出題します。

V 国際地域学部

1. アドミッション・ポリシー

(1) 国際地域学部において養成する人物像

国際地域学部では、地域や国際社会が抱える複雑な諸課題、つまり地域・国内・世界のそれぞれにおいて、急速に進行するグローバル化・少子高齢化・コミュニティの機能低下・環境破壊等の相互に関連した諸課題を探究し、課題解決を実現するための実践的・総合的な能力を身につけることによって、地域の創生を担いグローバル化社会の発展に寄与できる人材を育成します。

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

国際地域学部では、養成する人物像を踏まえ、以下のような学生を求めます。

- ①グローバル化によって地域から国際社会にまで起こっている複雑な諸課題について関心をもち、それについての探究を深め、課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲のある人。
- ②課題の探究と解決に向けて、必要となる専門的な分野の学習に取り組む意欲を持つとともに、課題解決の方法を探り、他の人と協働で実践的に取り組んでいくことに積極的である人。
- ③世界共通語的性格をもつ英語はもちろん、多文化的なグローバル社会の中で活躍できるコミュニケーション能力を身につけることに意欲を持ち、他の人との対話を通して、活動を広げ深めようとする人。

(2-2) 入学前に学習しておくことが期待される内容

国際地域学部では、高等学校あるいはそれに準ずる教育課程において学習する基礎的学力が十分身につけていることを前提に、英語能力を含む人文・社会科学分野を中心とした専門的知識・技能に加えて、現代の複合的な課題を理解し解決するために必要な自然科学分野の基礎的知識・技能も修得します。そのため、高等学校段階までに学ぶ各教科について、十分な基礎的学力を身に付けておくとともに、国や地域、文化や言語の多様性に目を向け、文系・理系の枠組みにとらわれず幅広い学問領域や現代社会の諸課題に対する興味を育んでおくことが期待されます。

(3) 入学者選抜の基本方針

様々な資質と背景を持った学生を受け入れるため、以下のような多様な入学者選抜を実施し、それぞれの選抜において、求める学生像にふさわしい能力・意欲・適性等を多面的かつ総合的に評価します。

①一般選抜（前期日程）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し、専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。

②一般選抜（後期日程）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、小論文を課し、国際・地域社会に関わる課題を提示して論述させ、思考力・分析力・表現力を総合的に評価します。また、面接を実施し、国際・地域の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

③学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、面接を実施し、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

④総合型選抜Ⅰ（高大接続型入試）（大学入学共通テストを課さない）

大学入学共通テストは免除し、第1次選考では、高校での取り組みやその成果に関するレポート等により、取り組みの内容と文章力及び自己アピール力等を評価します。さらに、提出された調査書等に基づき基礎的学力の評価を行います。最終選考では、取り組みに対するプレゼンテーション及び面接（口述試験を含む。）により、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

⑤私費外国人留学生選抜

小論文で、日本語の理解力と表現力を、また、面接によって日本で学ぼうとする意欲・資質・適性等を測ります。これらに日本留学試験と英語能力試験の成績を加えて総合的に評価します。

⑥私費外国人留学生選抜（外国人特別枠入試）

海外在住外国人を対象とし、英語能力試験の成績、日本語能力試験の成績、出願書類（志願理由書、推薦書、成績証明書）及びインターネットを利用した面接に基づき、総合的に評価します。

上記の入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価・判定し、入学者を選抜します。なお、評価を行うにあたり、重視するものに○を付しています。

入試区分	入学者選抜方法	基礎的な知識・技能	知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調査書			○
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接（口述試験を含む）	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
総合型選抜Ⅰ (高大接続型入試)	高等学校等での取り組みとその成果に関するレポート	○	○	○
	プレゼンテーション			○
	面接（口述試験を含む）	○	○	○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
私費外国人留学生 選抜	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	日本留学試験・TOEFL	○		
	成績証明書	○		
私費外国人留学生 選抜 (外国人特別枠)	面接	○	○	
	志願理由書		○	○
	推薦書			○
	日本語能力試験	○		
	成績証明書	○		

2. 個別学力検査等の日程

日 程		学 科	試 験 科 目 等	試 験 時 間	備 考
前 期 日 程	2月25日（土） 〔追試験 3月22日（水）〕	国際地域学科	数 学（110分）	9:20～11:10	（出願時にどちらかを選択）
			国 語（100分）	12:20～14:00	
			外国語（英語）（100分）	15:10～16:50	
後 期 日 程	3月12日（日） 〔追試験 3月22日（水）〕	国際地域学科	小 論 文（120分）	9:30～11:30	
			面 接	13:00～	

* 追試験の試験時間は追試験対象者に迫って連絡します。

受験上の注意事項：

- ア．試験室には、受験する科目の試験開始時刻の20分前までに入室してください。
- イ．試験開始に遅刻した場合は、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ウ．本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は、失格となります。
- エ．前期日程において、出願時に選択した教科・科目以外での受験はできません。

3. 入学者選抜方法等

- （1）大学入学共通テスト並びに個別学力検査等及び調査書を総合して選抜します。
- （2）前期日程、後期日程とも2段階選抜は実施しません。
- （3）大学入学共通テストの利用教科・科目名、個別学力検査等の教科・科目名及びその配点については、「6. 入学者選抜の実施教科・科目等」（53ページ）を参照してください。
- （4）後期日程の面接時間の詳細については、小論文試験終了後にお知らせします。昼食を持参してください。
- （5）大学入学共通テストの得点と個別学力検査等の得点が本学の定める基準に達していない場合は、募集人員内でも合格とならないことがあります。

4. 小論文、面接の内容（出題方針）等

日程	学 科	区 分	小論文、面接の内容（出題方針）等
後 期 日 程	国際地域学科	小論文	国際・地域社会に関わる諸課題を提示して論述させ、思考力・分析力・表現力を評価します。資料や文献を用いることもあります。
		面 接	個人面接により国際・地域の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

5. 注意事項

- (1) **本学が指定した令和5年度大学入学共通テストの教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者となり、本学の個別学力検査等を受験することができません。志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。**
- (2) 受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、高得点の教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」、「公民」及び「理②」の科目において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。
- (3) 個別学力検査の選択科目は、出願時に選択してください。

6. 入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 前期日程

【令和5年度】

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名等			個別学力検査等の実施科目等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考	
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	実技	面接	小論文	その他	調査書等 そのほか 記入する資料	配点 合計	
国際地域学部	国際地域学部前期 (30)	国語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」	国語総合・現代文B・古典B	から1から2	共通テスト	200	200	100	100	*100	200						900	
		地理	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ		個別学力検査	*300			*300		300				○		600	
		公民	「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」	公民		計	200/500	200	200/500		100	500						1500	
		数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ」	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ															

(2) 後期日程

学部・学科名		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	実技	面接	小論文	その他	調査書等 そのほか 記入する資料	配点 合計	
国際地域学部	国際地域学部後期 (12)	国語	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」	国語総合・現代文B・古典B	から1から2	共通テスト	*200	*200	*100	*100	*200	200						600	
		地理	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ		個別学力検査								100	200	○		300	
		公民	「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」	公民		計	*200	*200	*200	*200	*200	200		100	200			900	
		数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ」	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ															

(3) 注意 (前期日程・後期日程共通)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】 欄

- 受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。ただし、「地理」、「公民」及び「理②」の科目において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。
- 「理①」及び「理②」から3科目を受験している場合は、「理①」2科目合計の得点は「理②」の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。
- 「地理」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士を選択はできません。
- 「簿記」、「情報」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 外国語「英」は、リーディングの得点（100点満点）を150点に、リスニングの得点（100点満点）を50点に換算し、合計得点（200点満点）を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」のリーディングの得点（100点満点）を本学の配点に換算します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】 欄

- *印は選択を示します。
- [200/500] という表記は、個別学力検査でその教科・科目を選択しなかった場合は200点、選択した場合は合計500点とすることを示します。

【国際地域学部における英語外部試験の活用】

- 英語外部試験の成績を活用し、TOEFL iBTが100点以上の者は、大学入学共通テストの「英語」の得点を満点（200点）とします。ただし、英語外部試験の成績を提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。
- ※これらの英語外部試験の成績は令和3年（2021）年4月以降のものとなります。

【個別学力検査等の実施科目等】 欄

- 数学の出題範囲は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」の全範囲とします。「数学B」は、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

VI 福井大学案内

1. 目的及び使命

本学は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、独創的であつ地域の特色に鑑みた教育科学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い、専門医療を実践することを目的としています。

2. 学部の紹介

(1) 教育学部

教育学部には、小学校、特別支援学校、幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と、中学校、高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の2つのコースがあります。

初等教育コースでは、小中一貫教育や幼小連携教育、地域と連携した教育、特別支援教育など現在の学校教育の課題を解決していく能力を備えた小学校教員、特別支援学校教員を養成します。

また、中等教育コースでは、中高一貫教育などを見据え、高度で体系的な専門知識を持って、主体的で協働的な学習を構想し実践することのできる中学校教員、高等学校教員を養成します。

○学位及び教員免許状

教育学部学校教育課程の卒業者は学士（教育学）の学位が授与されます。なお、学校教育課程で取得可能な教員免許状は次のとおりです。

コース	サブコース	小学校		中学校			高等学校		特別支援学校		幼稚園教諭	
		1種	2種	1種	2種	免許教科	1種	免許教科	1種	2種	1種	2種
初等教育	小学校教育	◎		○*	○*	国語、英語、社会、 数学、理科、 技術、家庭、 音楽、美術、 保健体育	○*	国語、英語 地理歴史、公民 数学、理科、 工業、家庭、 音楽、美術、 保健体育	○	○	○	○
	特別支援教育	◎		○*	○*		○*		◎		○	○
中等教育	人文社会教育	○	○	◎	○*		○*		○	○		
	理数・生活教育	○	○	◎	○*		○*		○	○		
	芸術・スポーツ教育	○	○	◎	○*		○*		○	○		

◎ 卒業要件となっている免許

○ 必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

○* 免許教科に係る必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

※ただし、所属するサブコースによって取得できる免許状の種類・教科の数には制限があります。

(2) 医 学 部

医学部は、医の倫理に徹した、人格高潔な、信頼し得る臨床医及び医学研究者を育成することを目的とし、多くの優れた人材を送り出すとともに、医学の進展に貢献しています。

また、平成9年4月には、この基盤の上に、近年の保健医療に対する社会の要請に応えるため、医学部看護学科も設置されました。

医学部は、九頭竜川河畔の広大な敷地に最新の施設と設備を整え、医学及び看護学の教育・研究・診療において、特色のある学部を建設していこうと意欲に満ちています。志望する学問に対して強い憧憬を懷き、その勉学に情熱を持ち、また、医学部の新しい学風づくりに努力を惜しまないような入学者を期待しています。

① 医学科

ア. 教育目的

確かな知識と技能に基づく質の高い臨床能力と、生命尊重を第一義とする共感力と倫理観を有し、根拠に立脚した患者中心の医療を実践できる医師や、医学の進展に貢献する高い資質を身につけた医学研究者を育成し、医学・医療の進歩を通じて社会に貢献することを目的としています。

イ. 取得可能資格等

6年間の課程を卒業すると学士（医学）の学位が授与され、卒業後、国家試験に合格することによって医師の免許が得られます。

ウ. 共用試験（CBT※¹・OSCE※²・Post-CC OSCE※³）

共用試験実施評価機構が全国の医学科生を対象に実施する試験です。受験料が必要となります。

CBT※¹：コンピューターで知識の理解度を問う試験。4年次に実施。

OSCE※²：態度・基本的臨床技能を医療面接・身体診察により問う試験。4年次に実施。

Post-CC OSCE※³：「診療参加型臨床実習」を終えた学生を対象に、臨床研修開始時に必要な能力を有しているかを評価する試験。6年次に実施。

※1 CBT=Computer Based Testing 知識・問題解決能力の客観的評価試験

※2 OSCE=Objective Structured Clinical Examination 客観的臨床能力試験

※3 Post-CC OSCE=Post-Clinical Clerkship OSCE 臨床実習後客観的臨床能力試験

エ. 卒後臨床研修

医師国家試験の合格者は、医師免許を取得した後、2年間の卒後臨床研修が必要です。

② 看護学科

ア. 教育目的

高い倫理観と良識ある人間性を有し、科学的根拠に基づいた看護を実践でき、知識・技能を生涯にわたり修得し続ける高度専門職業人を育成し、看護学の発展と地域社会に貢献することを目的としています。

イ. 取得可能資格等

4年間の課程を卒業すると学士（看護学）の学位が授与されるとともに、看護師国家試験受験資格を得ることができます。加えて、必要な科目を修得した場合は保健師/助産師国家試験受験資格も得ることができます（選択制）。また、本学の指定する科目を履修し、保健師免許を取得した場合は、養護教諭二種免許を申請することができます。

ウ. 卒業後の進路

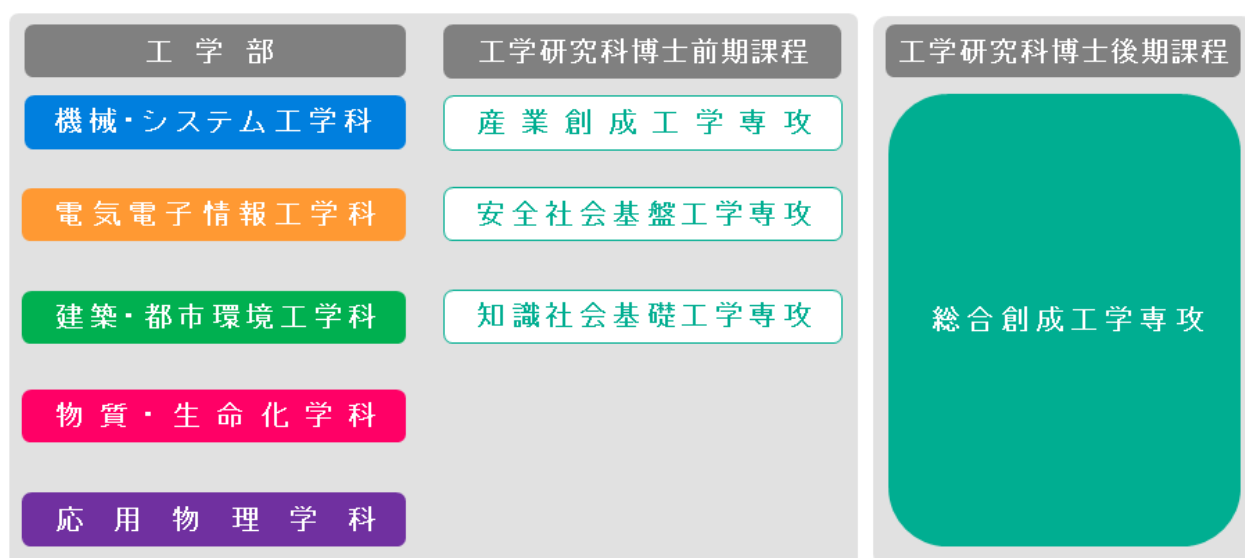
卒業後は、看護師、保健師又は助産師として、医療施設、保健施設、行政機関、企業、学校などの場で活躍するのみならず、教育、研究など幅広い分野での活躍が期待されます。

また、大学院に進んで、看護の専門領域の実践能力、研究能力を高め、将来看護の教育、研究、管理、実践の専門家として発展していくことが期待されます。

（3）工 学 部

工学部は、平成28年度に改組を行い、5学科体制で新たなスタートを切りました。本学部は、前身の福井高等工業学校から数えて90年を超える歴史を有し、日本有数の大規模な工学教育研究機関です。工学の殆どの分野を網羅し、日々進化する工学にすばやく対応して、皆さんのどのような期待にも応えることができます。学部学生定員は525名、3年次編入学生定員40名の合計565名です。学生の50%以上が進学する大学院工学研究科は、博士前期課程3専攻、博士後期課程1専攻からなり、そこでは、さらに高度な世界水準の教育研究が行われています。全国各地から集まった学生の総数は、現在約3,200名に達し、同じキャンパスで、学科・専攻や学年を超え、お互いに切磋琢磨しながら楽しい大学生活を送っています。

工学部・大学院工学研究科の理念は、Global IMAGINEER の育成、つまり、世界的な視野で（Global）ここに夢を描き（IMAGINE）、それをかたちにできる技術者（ENGINEER）として社会に貢献する研究開発能力を備えた高度専門技術者を育成することです。夢を形にするためには、最先端の専門的な知識や技術を習得するだけでなく、常に自らを批判的に省み、自分の能力を高め、創造力を育む必要があります。さらに、社会に貢献するためには、広い教養を身につけ、多くの人と関わる積極性とコミュニケーション能力を磨かねばなりません。そのために工学部には様々な教育プログラムが組まれています。例えば、専攻した学科以外の学科の専門科目を自由に履修することも可能です。特に系統的に履修した場合には、その分野を副専攻としたことを認定します。また、工学部先端科学技術育成センターでは最新の設備を整え、学生が学科や学年を超えてグループを構成し、創造的・学際的なモノづくりや調査・研究プロジェクトに取り組むことを支援しています。このような本学部の教育は、大学外の専門家による評価も高く、文部科学省が全国の大学から優れた教育を選ぶ「特色ある大学教育支援プログラム」や「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」にも採択されています。



○学位及び教員免許状

工学部の卒業者は学士（工学）の学位が授与されます。また、所定の単位を修得すれば次の教員免許状を取得できます。

学 科 名	高等学校 1 種
機械・システム工学科	工業
電気電子情報工学科	工業
建築・都市環境工学科	工業
物質・生命化学科	理科
応用物理学科	理科

（４）国際地域学部

少子高齢化やコミュニティの危機等の進行は、地域の中で深刻な課題となっています。

また、経済のグローバル化は地域にも浸透し、企業のグローバルな展開が進むとともに、地方経済の活性化は急務の課題となっています。

今日のグローバル化された社会の抱える課題の多くは、地域・国内・国際という異なるレベルに共通するものであり、それぞれにおいて相互に関わりながら分かちがたく展開しているという性格を持っています。

本学部では、地域の抱える諸課題の解決とそれを担う人材育成を、国際水準の教育で実現します。

○学位

国際地域学部の卒業者は学士（国際地域）の学位が授与されます。なお、教員免許状は取得できません。

3. 入学時の諸経費

（1）入学料・授業料

種 別	金 額	備 考
入 学 料	282,000 円（予定額）	入学時 1 回限り
授 業 料	年額 535,800 円 （予定額）	年 2 回（前期 5 月，後期 11 月）に分けて納入してください。また、申し出により前期分を納入の際に後期分（前期分と同額）も一括して納入することができます。なお、在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予

「大学等における修学の支援に関する法律」により、日本学生支援機構給付型奨学金受給者は、入学料・授業料の全部又は一部が免除となります。

また、経済的理由により入学料等の納付が困難であると認められる者に対しては、申請により選考の上、入学料及び授業料の徴収を猶予することがあります。

詳細は、本学が送付する入学手続要項及び本学ホームページ等でお知らせします。

2) 保 険

本学では、教育研究活動中の事故の備えとして、入学時にすべての学生が傷害保険および個人賠償責任保険に加入することを原則としています。

① 学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）

本学では、（公財）日本国際教育支援協会が運営する本保険を取り扱っています。保険料は、入学時に卒業までの保険期間分を一括納入することになっています。

また併せて、実習中、実験中、インターンシップ・ボランティア活動中（ただし、大学が正課、学校行事と位置付けているもの）等に生じる事故への備えとして、学研災付帯賠償責任保険（略称：学研賠）や、日常生活の病気や事故・賠償責任等も 24 時間補償する学研災付帯学生生活総合保険（付帯学総）もあります。

② 学研災付帯学生生活総合保険，医学生総合補償制度，（大学生協）学生賠償責任保険

※医学部のみ必須

日常生活（24 時間補償）での負傷はもとより，他人に対する賠償責任や臨床・臨地実習中における偶発的な事故等（針刺し事故等）万一の時に備えるものです。本学では，加入していない者は臨床・臨地実習を認めません。何れかの保険に加入してください。ただし、学研災付帯学生生活総合保険の加入には学研災への加入が必要です。

4. 学生生活

（1）奨学金制度

学部・大学院に在学する学生で，人物・学業ともに優秀であり，経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては，独立行政法人日本学生支援機構や大学独自奨学金及び都道府県・公益法人等の奨学金制度があります。

○ 独立行政法人 日本学生支援機構の奨学金

<貸与型>

「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があり、経済状況や学業成績をもとに採用者を決定します。

なお、日本学生支援機構が定める学業成績・収入基準を満たす場合には、「第一種奨学金」及び「第二種奨学金」の併用貸与を受けることもできます。

貸与型の奨学金なので、卒業又は退学後は、必ず返還しなければなりません。

種類及び貸与月額

<学部学生>

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	【自宅月額（自宅通学者）】 ・最高月額 45,000 円 ・最高月額以外 20,000 円又は 30,000 円 【自宅外月額（自宅外通学者）】 ・最高月額 51,000 円 ・最高月額以外 20,000 円、30,000 円 又は 40,000 円	無利子 ※自宅外通学者は「自宅月額」「自宅外月額」の中から月額を選択することが可能 ただし、申込み時における家計支持者の年収が一定額以上の場合には各区分の最高月額以外の月額から選択する ※給付奨学金と併せて貸与を受ける場合、貸与月額が調整されます。
第二種奨学金	20,000 円から 120,000 円までの 1 万円単位の金額の中から選択	有利子（在学期間中は無利子） 利率の算定方法は固定型、又は見直し型より選択

貸与の基準や金額等については変更される場合がありますので、奨学金の利用を予定している年度の開始前（3月初旬以降）に、日本学生支援機構のホームページ（<https://www.jasso.go.jp/>）にて改めて確認してください。

<給付型>

日本学生支援機構が定める基準を満たし、奨学生に採用された場合、「高等教育の修学支援新制度」の支援を受けることができる、原則として返還義務のない奨学金です。世帯の所得金額に基づき判定された支援区分、通学形態（自宅・自宅外）等により、支援額が決定します。

- ・文部科学省（高等教育の修学支援新制度）

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

- ・日本学生支援機構（奨学金の制度（給付型））

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

○ 大学独自奨学金

◆福井大学基金予約型奨学金

福井大学への進学を強く希望している受験生（現役生対象）に対し、入学後の修学に必要な経済的支援を行うことを目的とした奨学金です。入試出願前に奨学金を申請して、内定した方が入試に合格し入学した場合、所定の手続きを取ることで入学後に 30 万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金なので、返還の必要はありません。

詳細は、本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「トップページ」→「受験生の方へ」内の「学生生活」福井大学基金予約型奨学金から確認してください。

◆福井大学学生修学支援奨学金

福井大学基金及び福井大学運営費による給付型奨学金制度です。
経済的困窮度の高い者から選考します。募集時期は秋頃です。

◆福井大学生協奨学金

福井大学生協同組合からの寄付金による給付型奨学金制度です。
経済的困窮度の高い者から選考します。募集時期は秋頃です。

◆福井大学医学部同窓会「白翁会」國重奨学給付金 ※医学部医学科のみ対象

本学医学部医学科卒業生の故國重昌彦先生が、学生時代経済的に苦勞した経験から、医学科へ進学希望し入学した者や在学生の経済的支援を目的に、医学部同窓会「白翁会」に寄附された基金をもとにした奨学金制度です。

①入学支援金予約型

医学科入試出願を予定し、入学に際し真に経済的に困窮している受験生に対する支援金です。入学し、所定の手続き後に 80 万円を給付します。給付は入学時 1 回のみで、返還の必要はありません。

②修学支援金

真に経済的に困窮している医学科在学生への支援金です。原則として在学中 1 回のみ、50 万円が給付され、返還の必要はありません。

詳細については「白翁会」ホームページ(<https://sites.google.com/view/hakuoukai/home>)「トップページ」→「國重奨学給付金」から確認してください。

○ 都道府県・公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、入学後、奨学生の募集がある場合に随時、案内します。

※奨学金制度等を利用する際に、入学試験の成績や出身学校長から提出された調査書を必要とする場合には、各奨学団体等へこれらの情報を提示する場合があります。

(2) 課外活動

正規の教育課程のほかに、学生が豊かな情操を養い、体力を鍛え、将来社会において役立つ経験を積むため、教育の一環としてクラブ活動を認め、かつ、奨励しています。

(3) 健康診断

学校保健安全法に基づき、学生の定期健康診断を毎年春季に実施しています。

また、日々の健康管理のため、文京キャンパスに保健管理センター、松岡キャンパスに保健センター、敦賀キャンパスに健康相談室があり、身体面・精神面の健康について医師・臨床心理士・看護師・保健師等に相談をすることができます。

(4) 相談窓口

履修、生活、就職、人間関係など学生生活の中でのいろいろな問題について、相談に応じる体制が整っています。

(5) 学生宿舎

本学には、次のような学生宿舎があります（外国人留学生との混在で、男女は階別）。

11 月に大学のホームページに入居者募集要項を掲載しますので、入居希望者は内容をよく確認し、入居申請準備をしてください。

名 称	定 員	新入生入居 募 集 人 員	構 造	室定員	寄宿料	光熱水料等	所在地
国際交流 学生宿舎	209 人	約 30 人	鉄筋コンクリート 5 階建…1 棟 4 階建…2 棟	1 人	月額 5,800 円 (予定額)	月額 約 10,000 円	〒910-0017 福井市文京 5-13-10 (文京キャンパス から徒歩約 8 分)

※松岡キャンパス及び敦賀キャンパスには、学生宿舎がありません。本宿舎から松岡キャンパスへは交通機関利用で約 50 分、敦賀キャンパスには交通機関利用で約 1 時間 30 分かかります。

※寄宿料については改定（値上げ）する場合があります。

（6）その他

よりよい学生生活を送るために食堂、売店などの福利厚生施設があります。また、下宿・アパート等の紹介は、福井大学生生活協同組合で行っています。

詳細は、福井大学生生活協同組合（電話 0776-21-2956）に問い合わせてください。

福井大学入学試験個人成績開示申込書

令和 年 月 日

福 井 大 学 長 あて

氏 名 : _____

住 所 : _____

電話番号（本人） : _____ — — _____

私が受験した，入学試験の成績開示を申込みます。

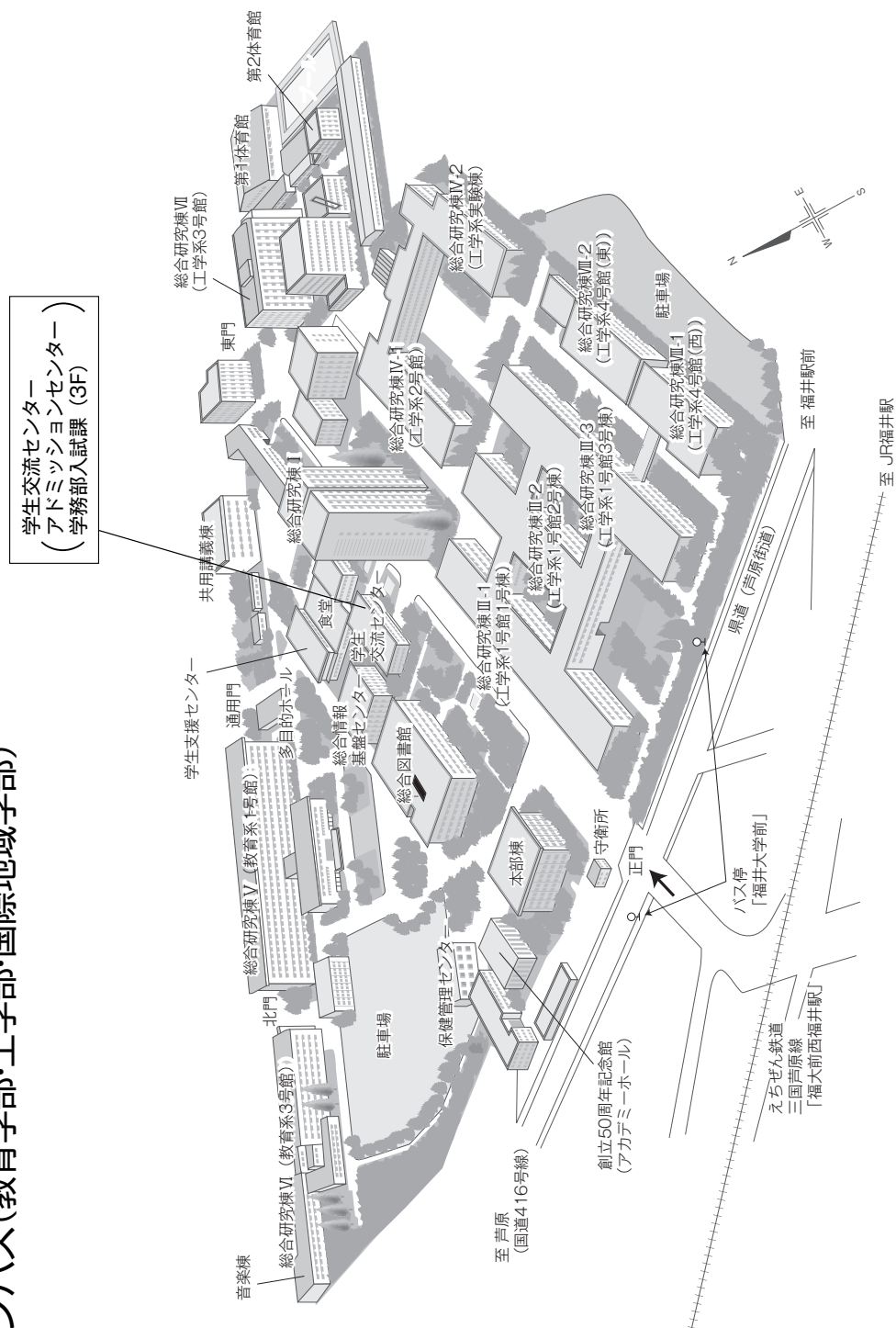
試 験 区 分	一般選抜 [前期日程 ・ 後期日程]
受 験 学 部	学部
学 科 ・ 課 程	学科・課程
受 験 番 号	番

【注意事項】

- 1 本申込書は，受験者本人が自筆で記入してください。
- 2 「本申込書」，「本学受験票」（コピー不可）及び「返信用封筒」（長3形：本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上，切手414円分貼付）を申込期間内に郵送又は持参してください。

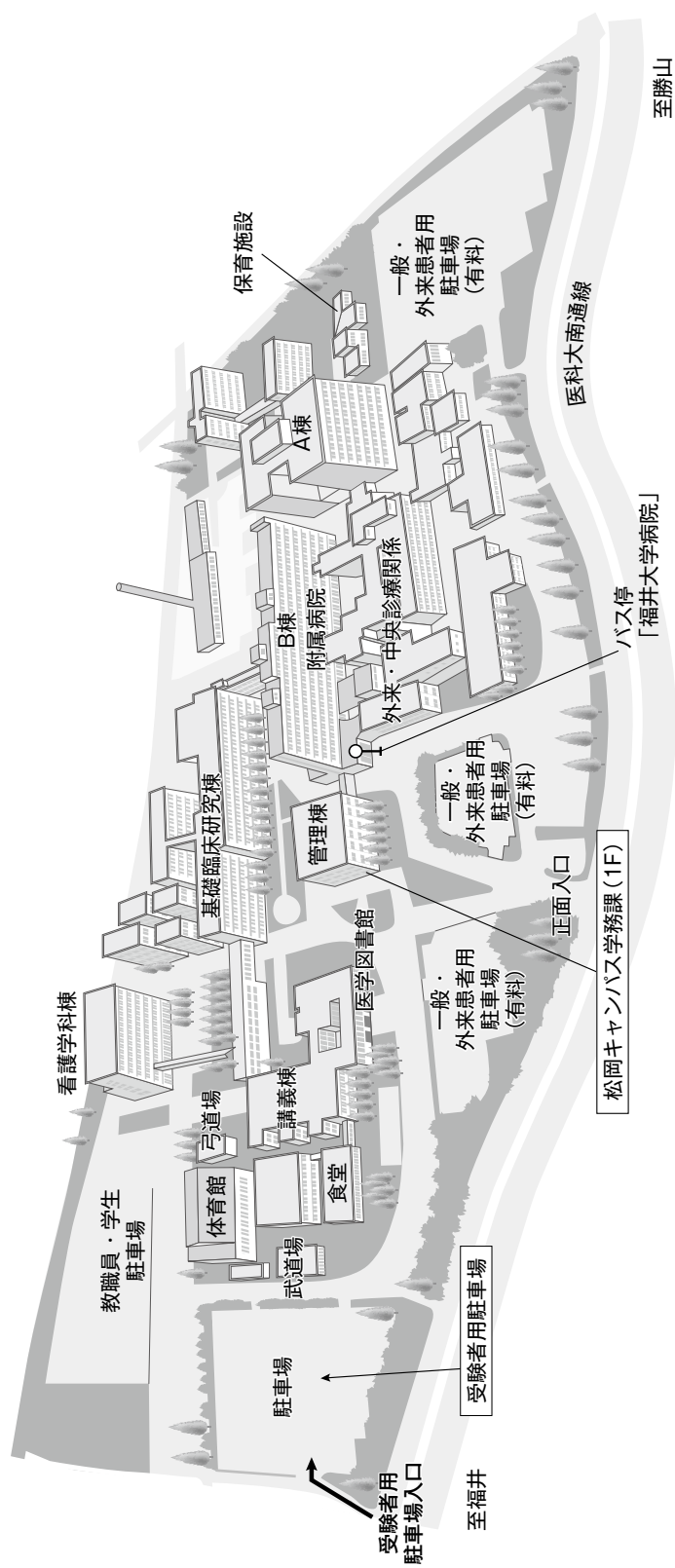
福井大学キャンパス建物配置図

■ 文京キャンパス(教育学部・工学部・国際地域学部)



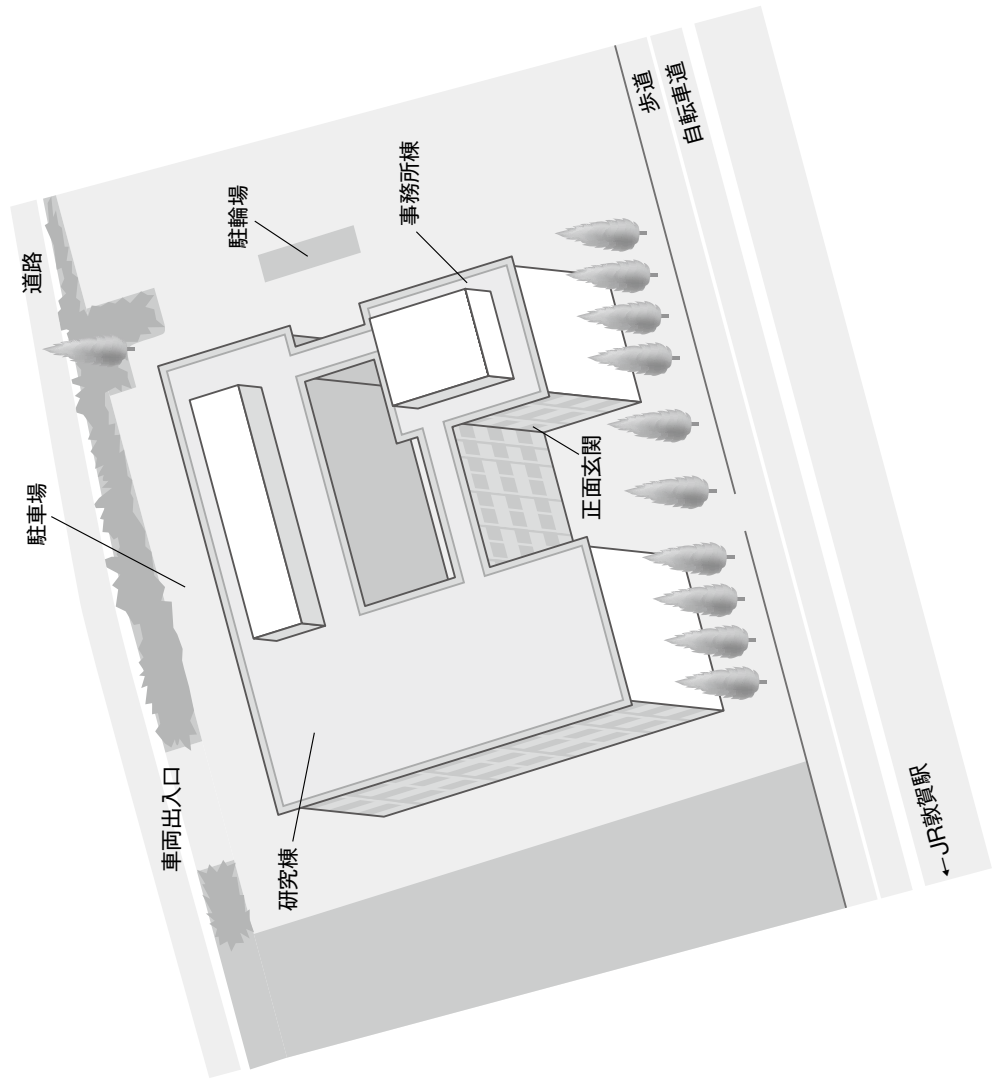
福井大学キャンパス建物配置図

■ 松岡キャンパス(医学部)

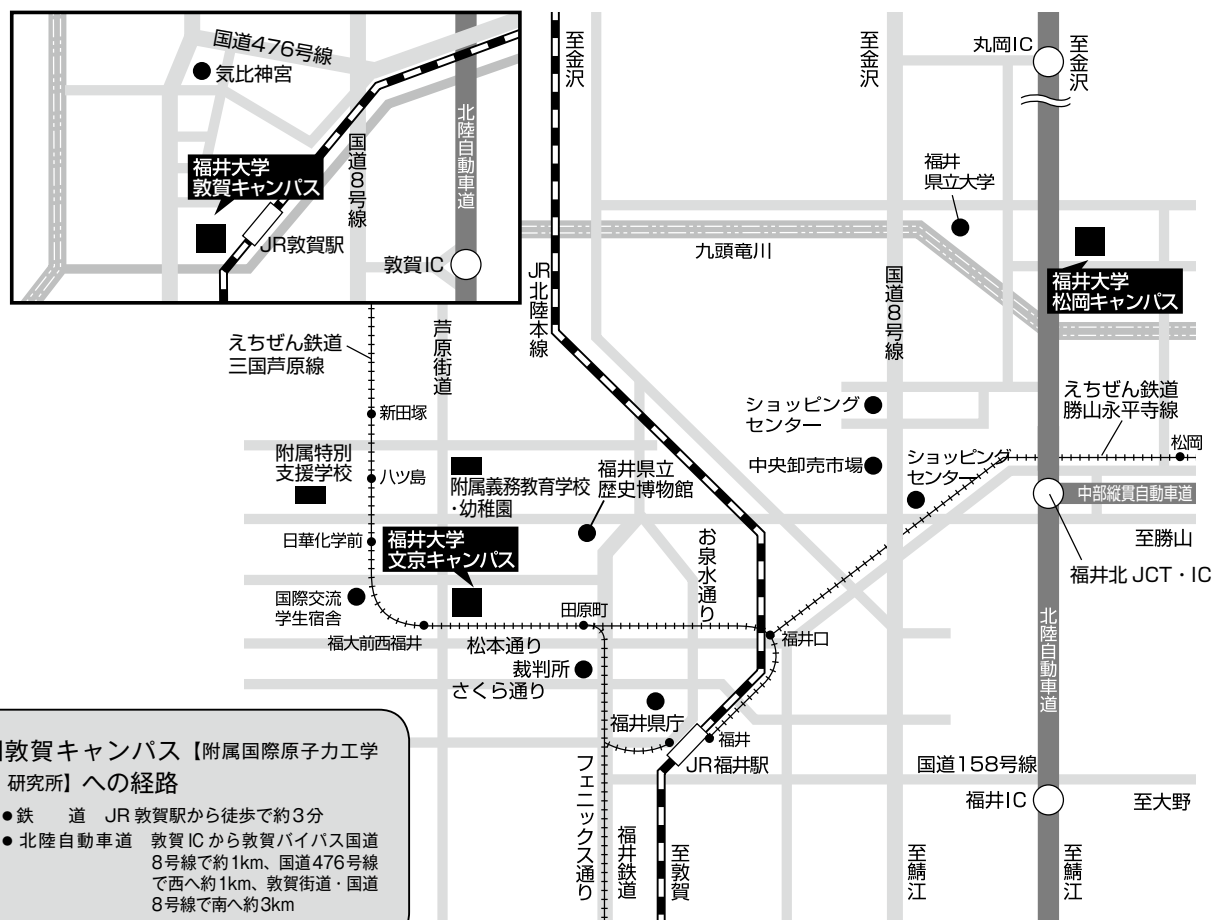


福井大学キャンパス建物配置図

■ 敦賀キャンパス(附属国際原子力工学研究所)



福井大学位置図



■敦賀キャンパス【附属国際原子力工学研究所】への経路

- 鉄 道 JR 敦賀駅から徒歩で約3分
- 北陸自動車道 敦賀ICから敦賀バイパス国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

■文京キャンパス【教育学部・工学部・国際地域学部】への経路

- バ ス JR 福井駅（約10分）→福井大学前下車
[JR 福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄 道 えちぜん鉄道福井駅→福大前西福井駅下車
[JR 福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
*西口前の福井鉄道（路面電車）ではありません。
- タクシー JR 福井駅（約10分）→福井大学文京下車
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km
福井ICから国道158号線で西へ約8km

■松岡キャンパス【医学部】への経路

- バ ス JR 福井駅（約35分）→福井大学病院前下車
[JR 福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
- 鉄 道 えちぜん鉄道福井駅→松岡下車 バスに乗り換え約5分
[JR 福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス]
*西口前の福井鉄道（路面電車）ではありません。
- タクシー JR 福井駅（約30分）→福井大学松岡下車
[必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから北へ約4km、又は丸岡ICから南へ約5km
※標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- JRで 大阪・京都→湖西線經由→福井
(特急で、京都から約1時間30分、大阪から約2時間)
- 自動車で 大阪・京都→<名神>→米原JCT→<北陸>→福井・福井北JCT・IC
(京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バスで 大阪・京都→<名神・北陸>→福井
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

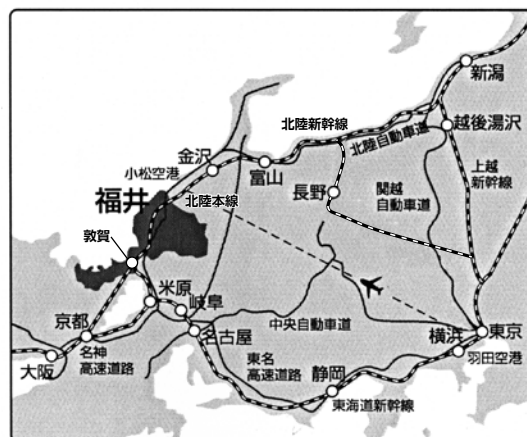
- JRで 名古屋・静岡→米原經由→福井
(名古屋から新幹線・特急で約1時間40分、特急で約2時間)
- 自動車で 名古屋→<名神>→米原JCT→<北陸>→福井・福井北JCT・IC
(約2時間)
- 高速バスで 名古屋→<名神・北陸>→福井(約2時間50分)

東京方面から

- 飛行機で 東京羽田→小松空港(1時間)→福井(連絡バス1時間)
- JRで 東京→米原經由→福井(新幹線・特急約3時間30分)
東京→金沢經由→福井(新幹線・特急約3時間30分)
- 自動車で 東京→<東名・名神>→米原JCT→<北陸>→福井・福井北JCT・IC
(約6時間30分)
※高速バスもあります。

金沢・新潟方面から

- JRで 金沢・新潟→福井(金沢から特急で約40分)
- 自動車で 金沢→<北陸>→丸岡→福井北JCT・IC(約1時間)



＜入試に関する問い合わせ先＞

福 井 大 学

学務部入試課

文京キャンパス（教育学部・工学部・国際地域学部）

〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1

電話 0776-27-9927

学務部松岡キャンパス学務課

松岡キャンパス（医学部）

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

電話 0776-61-8830

＜注意＞

- ・入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合や、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」のページでお知らせします。

【福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>】

- ・福井大学 携帯電話サイト

本学の学生募集要項等資料請求方法、一般選抜出願状況速報などの各種情報を携帯電話で閲覧できます。

【携帯電話サイト <https://daigakujc.jp/u-fukui/>】



- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。